

令和5年度
補助事業選考のための

*** 市民活動推進基金補助事業 ***

公開ヒアリング 公開プレゼンテーション

日にち：令和5年3月18日(土)

時間：9時30分～16時

場所：市役所本庁舎4階 会議室2～5

※委員と団体はオンライン参加の可能性あり

※傍聴は会場でのみ可

進行

9:30 開会

9:45 スタート支援(8事業) 公開ヒアリング

12:20 閉会

— 休憩 —

13:30 開会

13:40 ステップアップ支援(5事業) 公開プレゼンテーション

16:00 閉会

お問い合わせ

茅ヶ崎市総務部市民自治推進課協働推進担当(市役所本庁舎4階)

0467-82-1111(代表)

E-mail:shiminjichi@city.chigasaki.kanagawa.jp

目 次

進行予定表	1
発表方法及び選考方法	2
市民活動推進基金の概要	4
市民活動推進基金の対象となる事業と区分	5
市民活動推進基金にご寄附いただいた方々	6
市民活動推進基金補助事業 協力企業	7
茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿	8

◆◆スタート支援◆◆

① Family art day (ファミリー・アート・デイ)	10
② 第二回 茅ヶ崎コレクション ～誰もがランウェイを歩けます～	16
③ チアフル ～陽気に楽しくみんなでつながろう～	24
④ 子どもアニメーション体験教室	32
⑤ うみこころ 「みんなこの地球に生きるおなじ命」 ～イロトリドリを大切に、平和をつくる～	40
⑥ 広報紙の作成と発行	50
⑦ ボランティア養成講座～子どもの現状と課題、 子どもに対するコミュニケーションを学ぶ連続講座～	58
⑧ 純水館文化を茅ヶ崎市民に発信 ～茅ヶ崎って素晴らしい!～	64

◆◆ステップアップ支援◆◆

① 子どもの権利を遊びながら知るコラボ学習会	72
② 女性防災会議 防災ブレークスルー	80
③ スローコミュニケーションプロジェクト小冊子制作及び 音声認識の店舗実証と合理的配慮の市民周知事業	88
④ 譲渡会：保護犬を知ろう!幸せ家族探し会	96
⑤ ①がんサバイバーのためのワークショップとコミュニティ作り	106

進行予定表（3月13日修正）

◆スタート支援の部

9:30 開会（委員長あいさつ、委員紹介、進行及び選考方法についての説明）

単位：円

発表時間		事業名	団体名	総事業費	補助金申請額
9:45	1	Family art day(ファミリー・アート・デイ)	ART/TANEMAKI	106,835	96,000
10:00	2	第二回 茅ヶ崎コレクション ～誰もがランウェイを歩けます～	ちがコレ実行委員会	280,000	100,000
10:15	3	チアフル ～陽気に楽しくみんなでつながろう～	チアフル	115,146	100,000
休憩(10:28～10:33)					
10:33	4	子どもアニメーション体験教室	小さな教室カクツクル	144,909	100,000
10:48	5	うみこころ「みんなこの地球に生きるおなじ命」 ～イロトリドリの命を大切に、平和をつくる～	うみこころ	231,000	100,000
11:03	6	広報紙の作成と発行	ふるさとファーマーズ	114,240	100,000
休憩(11:16～11:21)					
11:21	7	ボランティア養成講座～子どもの現状と課題、子どもに対するコミュニケーションを学ぶ連続講座～	一般社団法人 リトルハブホーム	115,291	100,000
11:36	8	純水館文化を茅ヶ崎市民に発信 ～茅ヶ崎って素晴らしい！～	茅ヶ崎純水館研究会	112,655	100,000
スタート支援 総括質疑(11:49～12:09)					

閉会 12:09～（委員長あいさつ）

◆ステップアップ支援の部

13:30 開会（委員長あいさつ、委員紹介、進行及び選考方法についての説明）

単位：円

発表時間		事業名	団体名	総事業費	補助金申請額
13:40	1	子どもの権利を遊びながら知るコラボ学習会	ふらっと南湖	114,280	79,000
14:00	2	女性防災会議 防災ブレークスルー	マザーアース茅ヶ崎	133,700	93,000
14:20	3	スローコミュニケーションプロジェクト小冊子制作及び音声認識の店舗実証と合理的配慮の市民周知事業	一般社団法人 4Hearts	836,450	500,000
休憩(14:38～14:50)					
14:50	4	譲渡会：保護犬を知ろう！幸せ家族探し会	湘南1Leben	634,936	500,000
15:10	5	①がんサバイバーのためのワークショップとコミュニティ作り	ガーゼ帽子を縫う会	200,900	160,000
ステップアップ支援 総括質疑(15:28～15:50)					

閉会 15:50～（委員長あいさつ）

スタート支援	総事業費：1,220,076円	補助金申請額：796,000円
ステップアップ支援	総事業費：1,920,266円	補助金申請額：1,332,000円
合計	総事業費：3,140,342円	補助金申請額：2,128,000円

発表方法及び選考方法



発表方法

公開ヒアリングについて（スタート支援）

◆進行方法

- ①発表団体が、応募事業について説明を行います。（5分以内）
※持ち時間残り1分間及び終了の時点で、ベルが鳴ります。
※終了のベルが鳴った時点で、発表は終了です。途中でも終了してください。
- ②説明後、市民活動推進委員会委員より、事業内容に関するヒアリング（質疑応答）を行います。（8分程度）
- ③全スタート支援団体終了後に、総括質疑を行います。（予定）

◆説明方法

口頭（パソコン、模造紙などの使用も可）

公開プレゼンテーションについて（ステップアップ支援）

◆進行方法

- ①発表団体が、応募事業についてプレゼンテーションを行います。（8分以内）
※残り時間半分、残り1分間及び終了の時点で、ベルが鳴ります。
※終了のベルが鳴った時点で、発表は終了です。途中でも終了してください。
- ②発表後、市民活動推進委員会委員との質疑応答を行っていただきます。（10分程度）
- ③全ステップアップ支援団体終了後に、総括質疑を行います。（予定）

◆発表方法

口頭、パソコン、模造紙など



選考の視点と配点について

- ① 下表の各視点について、茅ヶ崎市市民活動推進委員会の各委員が評価します。
<スタート支援> 20点満点

選考の視点	説明
1 公益性(5点×2)	事業の成果は、市民や地域の利益になる（つながる）ものか。また、市民や地域のニーズに適した事業であるか。
2 発展性(5点)	補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。
3 費用の妥当性(5点)	対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。

<ステップアップ支援> 30点満点

選考の視点	説明
1 公益性(5点×2)	事業の成果は、市民や地域の利益になる（つながる）ものか。また、市民や地域のニーズに適した事業であるか。
2 発展性(5点)	補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。
3 費用の妥当性(5点)	対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。
4 事業実現性(5点)	実施可能な方法・スケジュール・予算で事業計画が立案されているか。また、新たな視点や発想から提案されたものであるか。創意工夫がなされているか。
5 自立性(5点)	自己努力による資金確保に努めているか。

＊「公益性」「発展性」「費用の妥当性」はスタート支援・ステップアップ支援共通の項目です。

＊「事業実現性」「自立性」はステップアップ支援のみの項目です。

② 審査に加わらない委員を除いた委員全員の採点結果のうち、平均点を算出し、順位付けをします。

③ 満点の60%（スタート：12点、ステップアップ：18点）を補助事業に適する得点の目安とし、委員会による協議に基づいて採否相当を判断します。なお、「公益性」の得点が60%を下回っている場合は、合計点が補助事業に適する得点に達していても、不採択となる場合があります。

▶▶ 委員が審査する団体について

(茅ヶ崎市市民活動推進委員会規則 第7条)	
○	委員本人、配偶者、3親等以内の親族が所属する団体
○	その他、直接の利害関係がある団体(委員による事前申告)

上記の団体については、公正性を高めるため、次のように扱います。

1	関係する団体の属する部門（スタート支援、ステップアップ支援）の採点を行わない。
2	公開ヒアリング・プレゼンテーションでは、関係する団体への質問は行うことはできない。また、委員自身がプレゼンテーションを行うことはできない。
3	選考会議（非公開）では、関係する団体の審議時に退席する。



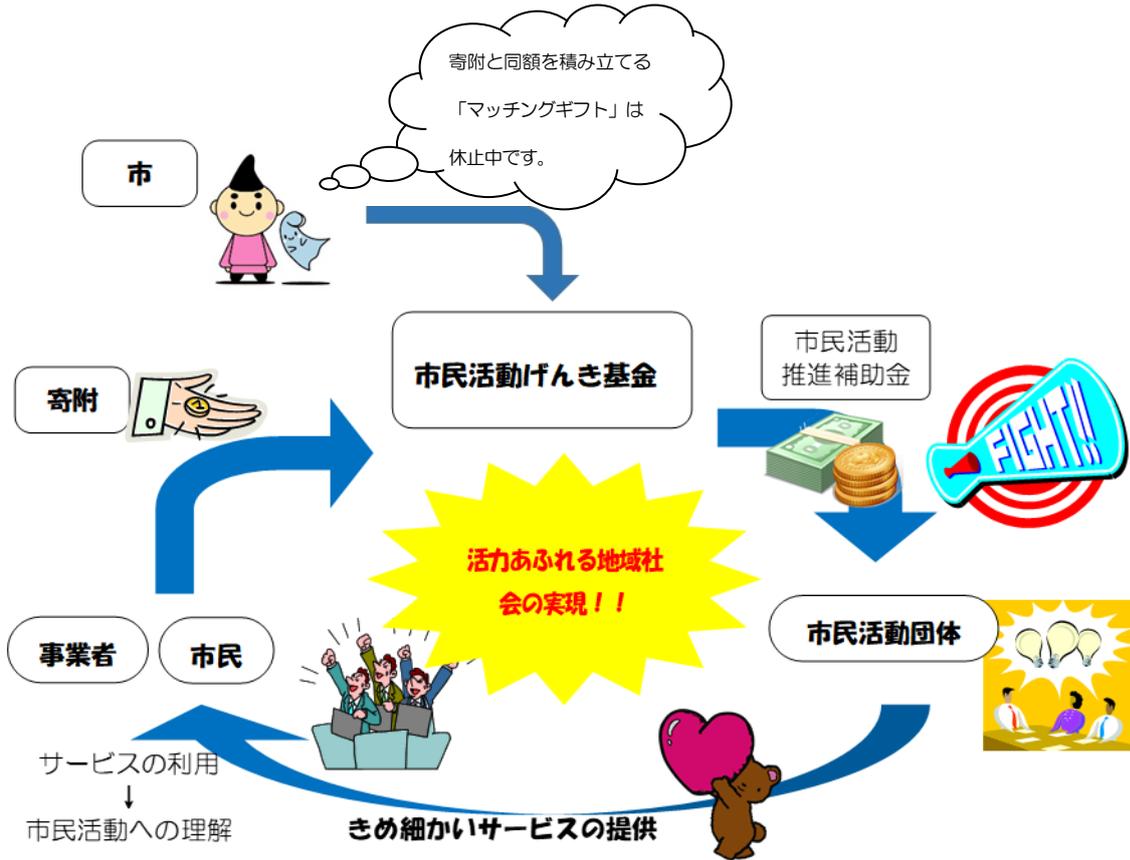
選考結果

- (1) 選考会議の審議結果（事業及び補助額の評価結果）は、市長に報告されます。
- (2) 審議結果の報告を受けて、市長が予算の範囲内で決定します。
- (3) 選考結果は、応募団体に採否の理由を付けて書面で通知します（4月上旬の予定）。また、茅ヶ崎市ホームページでも公表します。

市民活動げんき基金の概要

「今の活動をもっとたくさんの人に広げたい」
「みんなのための活動を新しく始めたい」
という思いをみんなで応援する仕組みです。

仕組み



寄附にご協力ください

げんき基金の積み立ては、1,500万円からスタートしました。市民活動推進補助金として、毎年補助をしています。仮に、寄附が全くなかった場合には、いずれ基金はなくなってしまいます。

たくさんの寄附が集まれば、それだけ多くの補助ができ、市民活動がもっと“げんき”になります。

税の優遇措置が受けられます

市民活動げんき基金へご寄附いただくと、所得税及び法人税の確定申告（住民税の申告を含む）の際に寄附金控除の対象となります。

寄附の累計額

12,621,630円
(令和4年9月30日現在)

寄附の方法

- 窓口 茅ヶ崎市役所市民自治推進課
(本庁舎4階1番窓口)
平日 8:30~17:15
- 振込 手数料が無料になる振込用紙（納付書）をお送りします。
お近くの金融機関をご利用ください。

みなさまからのご寄附をお待ちしております！

ちびき興隆
えぼし麻呂

市民活動げんき基金補助制度の対象となる事業と区分

種類	市民活動スタート支援	市民活動ステップアップ支援
対象団体	本制度による補助を受けたことがない団体	市民活動スタート支援を受けたことがある団体、 または設立後2年以上（※）の団体
対象事業	<p>茅ヶ崎市民が受益者となり得る公益的な事業</p> <p>公益的な事業とは、「特定非営利活動促進法（NPO法）に定める20分野に該当する事業」及び「その他地域社会の課題の解決を図るために実施する事業」をいいます。構成員のみを対象とした共益的な事業は対象外となります。</p>	
補助限度額	<p>団体の自立を促進し、活動を軌道にのせるための事業</p> <p>対象となる事業に要する経費から、他の補助金等を控除した額の90%または10万円のいずれか低いほうを上限。 事業内容を審査した上で、予算の範囲内で補助金額を決定します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>（例）総事業費が30万円の場合 30万円×90%=27万円 27万円>10万円なので、補助限度額は10万円</p> <p>（例）総事業費が8万円の場合 8万円×90%=7.2万円 7.2万円<10万円なので、補助限度額は7.2万円</p> </div>	<p>団体がこれまで行ってきた活動の拡充を図る事業または活動の発展を目的に次の一歩として新たに行う事業</p> <p>対象となる事業に要する経費から、他の補助金等を控除した額の60%～80%（※）または50万円のいずれか低いほうを上限。 事業内容を審査した上で、予算の範囲内で補助金額を決定します。 ※補助率：1回目80%、2回目70% 3回目60%</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>（例）総事業費が100万円の場合でステップアップ支援を初めて受ける場合 100万円×80%=80万円 80万円>50万円なので、補助限度額は50万円</p> <p>（例）総事業費が50万円の場合でステップアップ支援を受けるのが2回目の場合 50万円×70%=35万円 35万円<50万円なので、補助限度額は35万円</p> </div>
補助回数	同一団体1回限り	<p>同一団体につき3回まで</p> <p>※1回目のステップアップ支援を受けた翌年度は振り返り期間（フォローアップ）となるため、連続して補助金の申請ができません。（令和4年度に1回目のステップアップ支援を受けている団体は令和5年度の申請が可能です。）</p>
補助予算総額	<p>構成員を同じくする団体からの事業の目的・内容が同一とみなされる提案は、同一団体からの提案とみなし、補助金の種類ごとの交付回数に含めます。</p> <p style="text-align: center;">予算の範囲内で決定 【参考】令和4年度：300万円</p>	

市民活動推進基金にご寄附いただいた方々

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

寄附者（敬称略）	寄附年月日	寄附金額（円）
特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき	令和4年2月7日	5,410
令和4年度実施市民活動げんき基金補助事業公開ヒアリング設置募金箱	令和4年3月19日	1,000
匿名	令和4年3月31日	10,000
特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき	令和4年4月4日	6,961
湘南ヤクルト販売株式会社	令和4年4月28日	10,439
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和4年5月18日	32,451
令和3年度実施市民活動げんき基金補助事業実施報告会設置募金箱	令和4年5月23日	200
益永 律子	令和4年5月23日	10,000
歌声サロン「チーパッパ」	令和4年7月3日	5,667
特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき	令和4年8月1日	7,000
特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき	令和4年9月2日	5,000
特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき	令和4年9月12日	10,990
歌声サロン「チーパッパ」	令和4年10月4日	8,400
湘南ヤクルト販売株式会社	令和4年10月26日	14,308
特定非営利活動法人アーバンデザインセンター・茅ヶ崎	令和4年10月31日	5,341
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和4年11月2日	46,980
特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき	令和4年11月7日	2,140
ふるさと納税（匿名）	令和4年11月30日	15,000
匿名	令和4年12月15日	30,000
ふるさと納税（匿名）	令和4年12月20日	11,000
ふるさと納税（匿名）	令和4年12月20日	11,000
ふるさと納税（匿名）	令和4年12月25日	48,000
歌声サロン「チーパッパ」	令和4年12月27日	4,520
	合計	301,807

市民活動推進補助事業 協力企業

市民活動推進基金自動販売機設置協力企業様から、対象となる自動販売機の売り上げの一部をご寄附いただいています。

寄附者（敬称略）	寄附対象自動販売機設置場所
湘南ヤクルト販売株式会社	茅ヶ崎市体育館
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	浜須賀会館 海岸地区コミュニティセンター 小出地区コミュニティセンター コミュニティセンター湘南 茅ヶ崎地区コミュニティセンター 鶴嶺東コミュニティセンター 鶴嶺西コミュニティセンター 高砂コミュニティセンター

令和5年度事業は、株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン（GDO）様からの企業版ふるさと納税も活用して補助を実施します。




GDO様は「GDO 茅ヶ崎ゴルフリンクス」（茅ヶ崎市菱沼海岸）の運営事業者として、これまでも市政の様々な分野に対しご寄附をいただくなど、ご支援・ご協力をいただいております。

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

令和5年2月17日現在

区分	委員名	所属
市 民	おお はた とも こ 大 畑 朋 子	公募
	まち だ ゆ き 町 田 有 紀	
市民活動を行う ものの代表者	さか た み ほ こ 坂 田 美 保 子	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター
	いち かわ あゆみ 市 川 歩	特定非営利活動法人湘南スタイル
事業者の代表者	かん の あつし 菅 野 敦	湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部
	き い とも ひろ 紀 伊 智 裕	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
	ふな やま よし のり 船 山 福 憲	株式会社タウンニュース社 湘南支社副支社長兼茅ヶ崎編集室編集長
学識経験を 有する者	しずく いし つよし 雫 石 剛	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会
	うみ の まこと 海 野 誠	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
	はら だ こう き 原 田 晃 樹	立教大学コミュニティ福祉学部
	やま だ しゅう じ 山 田 修 嗣	文教大学国際学部

申請に関する資料

スタート支援 申請書類

- ・市民活動推進補助事業企画書
- ・市民活動団体概要書
- ・事業計画書
- ・収支予算書
- ・物品購入理由書
- ・補足資料

発表時間	事業の名称	提案団体
①9:45	Family art day(ファミリー・アート・デイ)	ART/TANEMAKI
②10:00	第二回 茅ヶ崎コレクション ～誰もがランウェイを歩けます～	ちがコレ実行委員会
③10:15	チアフル ～陽気に楽しくみんなでつながろう～	チアフル
④10:33	子どもアニメーション体験教室	小さな教室カクツクル
⑤10:48	うみこころ「みんなこの地球に生きるおなじ命」 ～イロトリドリの命を大切に、平和をつくる～	うみこころ
⑥11:03	広報紙の作成と発行	ふるさとファーマーズ
⑦11:21	ボランティア養成講座～子どもの現状と課題、子どもに対するコミュニケーションを学ぶ連続講座～	一般社団法人 リトルハブホーム
⑧11:36	純水館文化を茅ヶ崎市民に発信 ～茅ヶ崎って素晴らしい！～	茅ヶ崎純水館研究会

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">2023年1月12日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: right;">所在地 提出者 名称 ARTノTANEMAKi 代表者氏名 栗林大空</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	社会教育の推進を図る事業 子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	Family art day（ファミリー・アート・デイ）
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和5年 4月 1日から 令和6年 3月 31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	ARTノTANEMAKi
連絡先	
設立年月日	2021年 11月 11日
構成員数	8人（うち役員 3人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 6人 その他 2人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（Instagram、Facebook）
設立の経緯	市内の同志が、地域の大人という立ち位置から、教育を提供したいと考えていたことや、企業が積極的に地域貢献、教育や子育てに貢献したいと希望していたことから、得意分野の「子どもアート」のジャンルで親と子の気持ち良い関わりを提供する場を持つと考え、設立。
活動の目的	生涯学習の推進をすることと共に、市民による生涯教育の向上を目指すことを目的とする。
主な活動内容	2021年12月Family art day（高砂ヴィレッジ） 2022年5月茅ヶ崎とコーヒー（高砂緑地） 2023年12月企業廃材で子どもアート（サンノイチ）
年間決算額	26,720円
補助金の状況	団体名： 補助金の交付を受けた年度： 補助金の名称：

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>■子育て世代の親子向けに、地域の企業廃材※を用いた アートワークショップを開催する</p> <p>※…企業内で規格外などで不要となった部品、パーツ、資材など</p> <p>会場内でいくつかのエリアを設け、企業廃材を用いて自由に造形する遊び、ロール紙に身体全体をつかって描く遊び、絵具を用いた表現遊び等を通して子どもたちの創造性を喚起する。子どもたちの自由な表現に触れることで、親の「学び」観を柔軟にする機会を持つ。</p> <p>時間：10時～16時 参加費：無料 対象：子育て世代、地域の方なら誰でも参加可能 子ども3歳以上 予定開催月：5月、11月の2回。 希望開催地：根源（東海岸） 準備期間： 4月：スタッフの顔合わせ、準備のためのミーティング 4月～企業廃材を提供していただく企業めぐり① 5月 第一回開催後にスタッフ間でミーティング 6月～10月 月1回のスタッフミーティング 10月～企業廃材を提供していただく企業めぐり②</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用とアルコール手指消毒のお願い ・会場に入る前に検温 ・会場の窓を開放し、常に換気
<p>事業の背景 について</p>	<p>【背景】 コロナ禍もあり、家庭外で親が子どもと関わる時間が少なくなっています。また、管理的になる社会の中で、のびのびと自由に過ごす場や時間が持ちにくくなっています。</p> <p>そのような環境の中でも、親たちは「子ども達にはのびのびと育ててほしい」「楽しいことに思いっきり挑戦してほしい」と思いつつ、仕事による疲れや子ども達を穏やかにみる余裕がなかなか持ちにくい現状があります。</p> <p>私たちは、2回の family art day の開催を通じて、アートは、正解がないからこそ、アートを通して子どもたちは自由な表現をすることが可能で、親が子どもたちの自由な表現に接することで、子どもたちの可能性に気付く機会になると考えています。</p> <p>また、モノづくりを通して子ども達のがのびのびと自己表現をし、互いにありのままの姿を容認する現場をたくさん見て来た経験から、子育ての不安は、子ども達の楽しんでいる姿から払拭されると考え、事業を実施しております。</p> <p>【内容】参加者が企業廃材や様々な素材で造形表現をして過ごします。会場内には、保護者は子どもの様子を観ながら、子育ての難しさや面白さを共有できるスペースも準備し、日頃の子育ての悩みなどを気軽に共有できる場を設けます。</p> <p>【社会的意義】</p> <p>ワークショップで使用する企業廃材は、茅ヶ崎市内の企業から無償で提供していただいたものです。企業にとっては無用なモノでも、子どもたちは自らの創造性により多様な遊びを生み出します。子どもたちは遊びを通して市内の産業を知ることになり、企業にとっても、社会的な貢献となります。地域の企業が、子どもの活動へ間接的にでも関わることによって、企業に子育て世代への関心をもってもらおうと共に、参加者たちが、企業が子育て世代に対し関心を持ち協力的であることを知ってもらう機会となります。</p> <p>【公益性】</p> <p>茅ヶ崎市は子育て世代の転入者が全国1位（2021年、総務省）であり、</p>

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
団体収入	10,835	無料開催のため参加費なし
補助金収入	96,000	市民活動推進補助制度
合 計	¥106,835	

支出

科 目	金 額	内 訳
旅費	14400	駐車場代24時間1200円×6名×2日分
物品費	30315	ペンてるゆび絵の具(3色各2本)8520円 ターナーネオカラー(250ml3色×2本)6930円 厚手普通紙ロール(2本)5486円 厚手養生用布シート2849円 ウェス(3枚入り×2)220円 消毒関係(消毒スプレー500ml×2本、400ml×2本)4898円 パレット用小紙皿(2セット)992円 紙やすりミニセット(18枚×2)420円
印刷製本費	6120	チラシ 500枚 2510円(A4カラー印刷)
使用料・賃借料	56000	★団体PRパンフレット3610円(A62つ折りカラー印刷300部) 3500/1時間×8時間(準備時間1、開催時間6、片付け1)×2日間*アトリエ根源 茅ヶ崎市東海岸
合 計	¥106,835	

* 物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

補足資料

↓ 2021年12月実施時のチラシ

↓ 協力企業のサイトに活動報告を共有

活動実績の掲載媒体

↑ とことこ湘南

タウンニュース→

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年 1月 12日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: right;">所在地 提出者 名称 ちがコレ実行委員会 代表者氏名 石黒 あかね</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(4) 観光の振興を図る活動 (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業
事業の名称	第二回 茅ヶ崎コレクション ～誰もがランウェイを歩けます～
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	ちがコレ実行委員会
連絡先	
設立年月日	令和4年8月9日
構成員数	4人（うち役員 3人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 4人 その他 0人
情報の公開の方法	<input type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（茅ヶ崎市民活動団体ガイドブックに掲載・Facebook）
設立の経緯	自分たちの経験を活かし、茅ヶ崎の女性がもっと輝くために何が出来るか、私たちにしかできないことはなにかを考えていました。世間で「おしゃれ」とされる茅ヶ崎の中老年女性ですが、コロナによる長引く巣ごもり生活で、おしゃれを楽しむ喜びを忘れてしまっていないか、外出する元気も無くなってはいないかと感じていました。それならば「ファッションショー」という場をつくり、モデルとしてまたは観客として足を運んでもらい、双方がおしゃれを楽しむことで再びイキイキと輝いてもらうことができると考え本活動を開始しました。
活動の目的	本行事を通じ出演者及び観客がおしゃれを楽しむことで再び生き活きと輝くことで、心身の健康増進に寄与する。 また、「茅ヶ崎」が年齢を重ねてもおしゃれを楽しみ生き活きと暮らせる街であることを発信する。
主な活動内容	ファッションショーの開催運営、ショーに出演するためのレッスン開催
年間決算額	円
補助金の状況	団体名： 補助金の交付を受けた年度： 補助金の名称：

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>「第2回茅ヶ崎コレクション」の開催、ファッションショー出演に向けたレッスンの開催</p> <p>（日程） 本番：5月以降の土曜日または日曜日 午後1時間半程度 レッスン：本番約1.5か月前から2回（90分/回） ※6回開催のうち2回出席が必須となります。 リハーサル：本番1週間前に1回（120分/回）</p> <p>（場所） うみかぜテラス内各施設</p> <p>（対象） 市内の在住者（40歳以上） 20名まで（事前申込制）</p> <p>（費用） 9,000円（モデル参加費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回のレッスン内容は、ストレッチ、姿勢、ウォーキングとなります。 ・レッスンから本番までの様子は写真・動画撮影し活動報告としてYouTube、SNS、ホームページに掲載します。 ・ファッションショー演出のための映像制作・チラシデザイン・スライド制作については外部委託します。 <p>【新型コロナウイルス感染症対策】</p> <p>本番座席数は会場定員の半分とし、2m間隔（前後も重ならない）で席を配置するとともに、常時換気の実施、3密を回避します。出演者、観覧者、スタッフには検温、マスク着用、アルコール手指消毒、水分摂取以外の飲食は控えるよう呼びかけます。</p> <p>また、レッスン、リハーサル時にも参加者に対し同様の対応を行います。</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>自分たちの経験（ミセスコンテストグランプリ獲得、フラワーアーティスト、スタイリスト）を活かし、茅ヶ崎の女性がもっと輝くために何ができるか、私たちにしかできないことはなにかを考えていました。</p> <p>茅ヶ崎は自由で個性豊かな人々が暮らす街。各世代自分自身のこだわりのおしゃれを楽しんでいる方が多く、特に中高年層の着こなしやセンスは世の中の同世代の憧れでもあります。</p> <p>そんな茅ヶ崎の中高年女性も、コロナ禍による長引く巣ごもり生活で、おしゃれを楽しむ喜びを忘れてしまっていないか、外出する気力や体力も無くなってはいないかと感じていました。</p> <p>それならば「ファッションショー」という場をつくり、コロナ禍で出番がなくなってしまった服だけでなく、若い頃気になって買ったが捨てられず箆箆に眠ったままの服、親から譲り受けた服、もう一度着てみたいが着ていく場面がない服等々…ご自身のそれぞれの思いが詰まった服を身にまとい、モデルとしてランウェイを歩けば、心も体も再び活き活きと元気になってもらえるのではないかと考えました。</p>

	<p>また、観客にも「茅ヶ崎スタイル」を楽しんでいただけ、ランウェイ上で生き活きと輝くモデルたちを観ることで元気や勇気をもらうことができるのではないかと考えました。</p> <p>そして、茅ヶ崎は「年齢を重ねてもおしゃれを楽しみ生き活きと暮らせる街」としてPRすることができると考えこの事業を計画しました。</p> <p>～第1回茅ヶ崎コレクションを終えて～</p> <p>開催日：令和4年11月24日（木）</p> <p>会場：うみかぜテラス</p> <p>観客120名、出演モデル20名(40～83歳の女性、一般応募)</p> <p>ゲスト出演者2名、運営ボランティア20名</p> <p>ウクライナから茅ヶ崎へ避難されている方もモデルとして出演されました。運営はすべてボランティア・協賛によるものです。特に出演モデルのうち、15名のヘアメイクは美容学生10名の実習ボランティアとなりました。</p> <p>出演モデルは本番までに2回のレッスンを受講し、コレクション当日は自身のお気に入りの服を着て、100席超の客席がほぼ満席、市長も見守るなか、ランウェイを堂々と笑顔で歩くことができました。</p>
<p>事業の目的や効果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本行事を通じ出演者及び観客がおしゃれを楽しむことで再び生き活きと輝くことで、茅ヶ崎市で暮らすことの誇りの再認識と心身の健康増進に寄与する。 ・「茅ヶ崎」が年齢を重ねてもおしゃれを楽しみ生き活きと暮らせる街であることを発信する。 ・本番のヘアメイクは美容学生が担当することになり、学生にとっては実習機会の少ない中高年ヘアメイクの実習の場となり、モデルにとってはご自身を学生の練習モデルとして協力することができる。
<p>事業の広報について</p>	<p>(使用予定の媒体にチェック)</p> <p>■チラシ・ポスター □パンフレットなどの刊行物 ■ホームページ</p> <p>■Facebook □Twitter ■Instagram □その他のSNS ()</p> <p>■市の広報紙 ■市の広報掲示板 ■口頭にて伝達</p> <p>■その他(前回参加者や前回締め切り後参加希望者へDM)</p> <p>・チラシやポスターの配架を考えているのは、公民館(5館×50部ずつ)、コミュニティーセンター(11館×50部ずつ)、ちがさき市民活動サポートセンター(50部)です。</p> <p>・チラシは市の広報掲示板にも掲載を依頼します(146箇所)。</p> <p>・チラシは茅ヶ崎市内の商店に(30店舗×30部ずつ)置いて頂き、関係者、モデル参加者にも知人ご家族ご友人へ配布いただきます。</p> <p>・市広報紙への掲載を依頼します。</p> <p>・タウンニュース社、J-COMへの掲載を依頼します。</p>

<p>今後の展望 について</p>	<p>本イベントを第2回、第3回と継続することで、年齢を重ねても誰もが輝ける茅ヶ崎市の魅力を伝える代表的なイベントとなることを目指します。</p> <p>また、これらの活動を茅ヶ崎市ならではの施設を活用することで、茅ヶ崎市のPRを行う。</p> <p>さらに、各業界の著名な方からご興味をいただいております、本活動の趣旨に賛同いただける協賛者・協賛企業の開拓を行います。</p> <p>ちがコレに参加する、出る人観る人手伝う人誰もが相互貢献できる社会貢献型ファッションショーを目指します。</p>
<p>事業の実施体制 について</p>	

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1 事業収入	180,000	参加費9,000円×20人
2 補助金収入	100,000	市民活動推進補助制度
合計	280,000	

支出

科 目	金 額	内 訳
使用料・賃借料	70,140	うみかぜテラス (本番 ¥ 47,740 リハーサル1回 ¥ 10,910 練習6回分 ¥ 11,490)
物品費	5,000	来場者用使い捨てスリッパ (¥50×100) ¥5,000
謝金	20,000	動画撮影謝礼 ¥10,000 写真撮影謝礼 ¥10,000
業務委託費	155,704	映像制作 ¥50,000 チラシデザイン(¥30,000×2 パターン) ¥60,000 スライド制作 ¥45,704
保険料	4,800	レクリエーション保険
印刷製本費	24,356	チラシ2900枚(ネット印刷)
合計	280,000	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

- 備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。
- 備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

～第1回茅ヶ崎コレクション～

開催日：令和4年11月24日（木）

会場：うみかぜテラス

モデル年齢構成：40代9名、50代5名、60代4名、80代1名

【モデルアンケート抜粋】（回答者19名）

Q. 次回「茅ヶ崎コレクション」を開催した場合、モデル参加をお友達に勧めたいですか？

A. はい19人

- ・自由で楽しめるから
- ・素晴らしい思い出と見られる意識向上の為
- ・幸せな時間を得られ前向きになるから
- ・参加を通して、前向きな気持ちになり意識も高まりました。
- ・滅多に経験出来ない事なので。
- ・女性であることを再び認識し、美しくありたいと思う方々に出会い、刺激をうけたので、他の方にも経験していただきたいです。
- ・ランウェイでも、気軽に未経験でもできるのが嬉しかったからです。そういう経験したい方沢山いると思います。

Q. 次回「茅ヶ崎コレクション」を開催した場合、モデル参加したいですか？

A. はい13人、検討したい4人

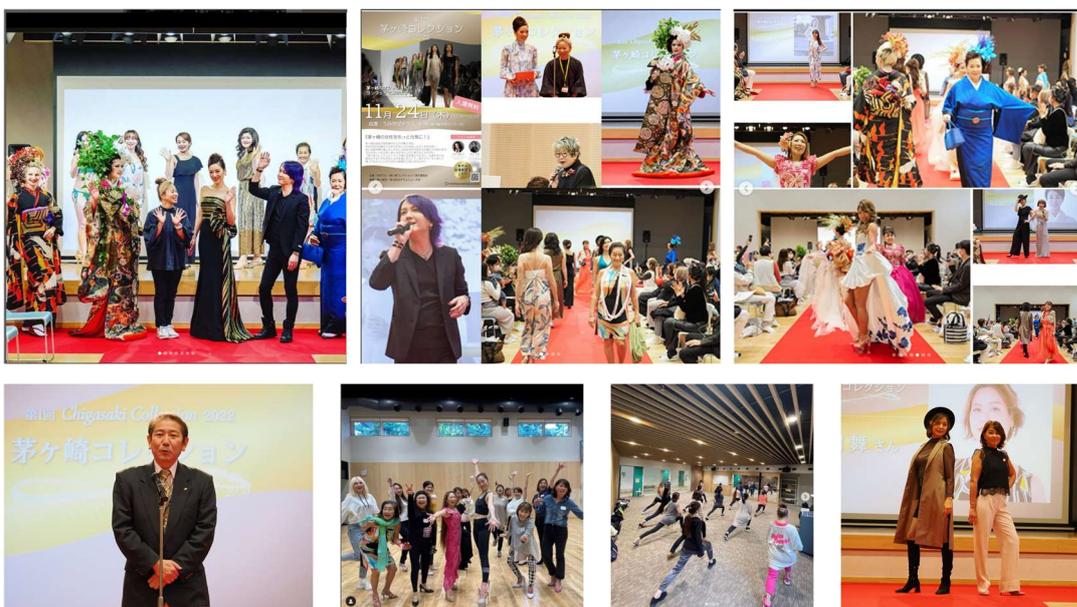
- ・今回とても良かったので次回も参加して人生をエンジョイしたい。
- ・今回より成長した姿を撮ってもらいたいと思います。教えていただいたことの一つでも体得して、1回目より笑顔で出演したいと思いました。
- ・まさか♥の経験、学びに喜びを感じました。
- ・日々、自分を磨く目標になるからです。また、輝いている方を見て、刺激を受け学びたい。
- ・自分磨きや自信になる。同じ目標の方達とのご縁ができる。
- ・次回はさらに素敵な会になっているのが見えるようで楽しみ。
- ・楽しかったのとみなさんと交流したいから
- ・キレイなみなさんを見れ、色々な方と知り合い、楽しめたから。
- ・参加者の方々のファッションを通して、チャレンジしてみたいドレスや和装など考えるとワクワクします！
- ・今回はお着物でしたが、ドレスやヒールでも練習して歩いてみたいな！と思いました。
- ・人生初の、ランウェイ体験がちがコレで本当に良かったです♪凄い楽しくて成長出来たし、身近な人達にもそれを見ていただけたし、人は変われると、勇気をもたらたと、凄い何人にもメッセージをいただけたので。

Q13. その他、ご意見・ご感想

- ・ 素敵なイベント参加に怖気付く私を励ましてくださりありがとうございました。プロのヘアメイクでランウェイ出来て勇気をもらいました。ありがとうございました。
- ・ 今回このような機会に恵まれ、とても刺激ある数日間でした！参加させて頂き、良かったです！ありがとうございました。
- ・ 人生でやってみたいと思っていたことが実現できたので最高に嬉しい！嬉しさ一杯です。石黒あかね様はじめチガコレの実行委員の方々には感謝感謝感謝で心より御礼申し上げます。
- ・ 初めての経験で、よくわからず、楽しませていただきました。いい刺激を頂きました。
- ・ 今回は、想像以上にステキなイベントでした！こんなにしていただけるとは、思ってもいませんでした！主催者のあかねさんの人柄、社会貢献したいという心持ち、美しさ…全てに感動したイベントでした！ますます、イベントを広げて、茅ヶ崎を盛り上げて行ってください！私も微力ながら、応援し何かできることがあったら、お手伝いもしたいです！今後ともよろしくお願ひいたします！ますますの会の発展をお祈りしています！！
- ・ 茅ヶ崎 love なみなさまの気持ちがひとつになった素晴らしい運営で感動しました。

【観覧者からのご意見・ご感想】

- ・ 皆様大変素敵で女性が輝くってこの世界に必要なだと思いました。(50代・女性)
- ・ 平和に感謝。平和は本当にありがたい。来年も楽しみに待っています。(60代以上・女性)
- ・ とにかく感じたのはモデルさんたちも観客も楽しんでいる。(30代・男性)
- ・ 純粋に輝いている人が身につけている物は素敵に見えるし、それをキッカケに購買欲が増す。(40代・男性)
- ・ うみかぜテラスでこんな素敵なイベントができるなんて驚いた (30代・女性)



第1号様式（第7条関係）

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年1月12日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: center;">所在地</p> <p style="text-align: center;">提出者 名称 チアフル 代表者氏名 久住 奈美</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(3) まちづくりの推進を図る事業 (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 (13) 子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	チアフル ～陽気に楽しくみんなでつながろう～
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿

市民活動団体概要書

名称	チアフル
連絡先	
設立年月日	2020年12月 1日
構成員数	4 人
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 4 人 その他 0 人
情報の公開の方法	<input type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（Facebook、Instagram、LINE）
設立の経緯	障がいのある子どもを育てる中で、健常な子どもたちと離されて育っていく環境に疑問を抱きました。幼い頃から当たり前に障がいのある子もいない子も一緒に遊ぶ環境になったら、インクルーシブの世界は自然と生まれるのではないかと、我が子たちも。 東京にインクルーシブ公園ができたこと知り、茅ヶ崎にも創っていただきたいと思い活動を開始しました。
活動の目的	障がいの有無、国籍、性別、年齢等ありとあらゆる壁や分断をなくし、誰もがつながり、“ありのまま”過ごせる環境を創る。
主な活動内容	●インクルーシブ公園プロジェクト（パーククリーン） ●あそんでつながる（ボッチャ、ゆるスポーツ、季節のイベント等） ●まなんでつながる（上映会、読み聞かせ等） ●ちいきにつながる（ビーチクリーン、農業体験等）
年間決算額	15,520円
補助金の状況	団体名： 補助金の交付を受けた年度： 補助金の名称：

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>「パーククリーン」：協力し合い、公園のゴミ拾いを行う事業。 (日程) 4、9、3月 第2 or 第4土曜日 午前10時～12時 (場所) しろやま公園 (対象) 規定なし 10～20名程度 【新型コロナウイルス感染症対策】 参加者は事前に把握し、マスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。</p> <p>「お話し会&ビーチクリーン」：ゴミ問題を学び、協力して海岸のゴミ拾いを行う事業。 (日程) 7、12月 第2 or 第4土曜日 午前10時～12時 (場所) 茅ヶ崎公園、茅ヶ崎海岸付近 (対象) 規定なし 10～20名程度 【新型コロナウイルス感染症対策】 参加者は事前に把握し、マスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。</p> <p>「ボッチャ体験」：スポーツを通じて地域での交流を図る事業。 (日程) 8、11、2月 第2 or 第4土曜日 10時～14時 (場所) まちづくりスポット茅ヶ崎 (対象) 規定なし 【新型コロナウイルス感染症対策】 参加者は事前に把握し、マスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。また交代時に除菌シートを用いてボールの消毒を行います。室内は常時換気を行います。</p> <p>「農業体験」：農作業を通じて、自然を感じながら交流を図る事業。 (日程) 5、10月 第2 or 第4土曜日 午後1時～3時 (場所) 永野農園 (対象) 規定なし、定員30名 【新型コロナウイルス感染症対策】 参加者は事前に把握し、マスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。</p> <p>「上映会」：『夢みる小学校』を鑑賞し、学校教育のあり方や個性の尊重とはどうすることなのか共に考え、学ぶ事業。 (日程) 1月 第2 or 第4土曜日 午後1時～3時 (場所) うみかぜテラス 音楽室 (定員60名) (対象) 規定なし、定員30名 (費用) 500円 【新型コロナウイルス感染症対策】 各回の対象人数は会場定員の半分とし、2m間隔で席を配置するとともに、30分ごとに換気を行い、3密を回避します。参加者は事前に把握し、マスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。</p> <p>「ゲームで交流会」：『ワンダーワールドツアー』という共生社会を学ぶカードゲームを用いて楽しみながら学ぶ事業。 (日程) 6月 第2 or 第4土曜日 午前10時～12時 (場所) うみかぜテラス フリースペース (対象) 規定なし 10～20名程度 【新型コロナウイルス感染症対策】 参加者は事前に把握し、マスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。</p>
------------------------	---

収支予算書

収入

科目	金額	内訳
1 事業収入	15,000	・参加費 ○上映会 ¥500×30人
2 補助金収入	100,000	・市民活動げんき基金補助
3 団体収入	146	「チアフル」にて負担（団体への寄付、団体資金等から）
合計	115,146	

支出

科目	金額	内訳
1 物品費	21,622	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒用アルコール（400ml×2本）¥1,072 ・アルコール除菌シート（ボッチャボール等物品消毒用）（35枚×4セット）¥440 ・ボッチャボールセット（1セット）¥3,980 ・ガムテープ（ボッチャコート作成用）（10m×9本）¥990 ・模造紙（各イベント会場掲示用）（四六判×5枚）¥550 ・カラーペン（広告用）（18色入）¥1,900 ・さつまいも苗（10本×4セット）¥3,200 ・収穫用はさみ ¥698×5 ・ワンダーワールドツアー（共生社会を学ぶカードゲーム）¥3,000×2
2 印刷製本費	6,984	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ印刷50部×12回（カラーコピー・用紙代含）¥4,560 ★団体PRチラシ（A4サイズ）100部（カラーコピー・用紙代含）¥760 ★団体PRチラシ（名刺サイズ）200部 ¥1,664
3 使用料・賃借料	86,540	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりスポット茅ヶ崎（¥250/30分）¥2,500×3回 ・うみかぜテラス音楽室（¥660/1時間）¥2,640 ・『夢みる小学校』上映用レンタルDVD ¥50,000 ・レンタルプロジェクター・スクリーン ¥26,400
合計	115,146	

映画『夢みる小学校』紹介

『夢みる小学校』は子ども主体、体験型…ひとりひとりの個性を大切にした3つの学校に密着した“ドキュメンタリー”映画です。

実際に代表が鑑賞した感想を述べると、子どもたちは自由に考え、自由に学びのびのび生き生きとして自分たちで授業を作り上げていきます。大人から“教えられる教育”ではなく、“主体的に学ぶ”からこそみんなそれぞれが考え、色んな子を尊重し合う姿が見られます。その姿から“ミライの教育”とは何か、子どもたちに必要な教育とは何かを考えるきっかけとなる作品だと感じました。

障がいのある子どもを持つ親としての正直な想いを綴ると、今の学校現場のあり方では障がいのある子は同じ学校の中にも別の世界に置かれているように感じます。

また定型発達の子どもにおいても不登校や自殺が増えているのも「〇〇できなければならない」、「〇〇しなければならない」という評価がベースにある日本教育特有な枠組みの窮屈さも関係あるのではないかと個人的には思います。

この映画は文部科学省も推薦しており、子どもだけでなく大人としても学校任せにせず、地域の大人としてどのように学校に協力しているけるかを考えるきっかけとなる作品だとも感じます。

本来子どもにとって誰にでも無条件に提供される“居場所”である学校。現代に必要な学校とは何か、その目指すべき学校を創るために一人一人ができることは何なのか、ぜひいろんな方に鑑賞いただき、この作品を通して、共に大きなテーマを考えていきたいです。



「体験学習」を30年前から 続ける先進的な学校があった。

2020年度から学習指導要領の主題が「アクティブラーニング（自主的探求）」に大きく舵を切りました。激動のAI時代に対応するため、日本の公教育も大きく揺れています。「きのくに子どもの村学園」は、30年前から「体験学習」を実践しています。この学校を見学した脳科学者の茂木健一郎さんは、「これからの人工知能時代にふさわしい能力を発揮できる、ここは“ミライの学校”だ！」と驚きました。ミライの学校のヒントを、この映画からみつけてください。



楽しくなければ、学校じゃない

宿題がない、テストがない、「先生」がない。
「きのくに子どもの村学園」の子どもたちは
「プロジェクト」とよばれる体験学習の授業を通じて、
自分たちでプロジェクトを運営し自らの頭で考えます。
「楽しくなければ、学校じゃない」と、
子どもの村のスタッフは口をそろえます。
キラキラした目で笑顔で学ぶ
小学生の姿を見た事がありますか？
学校って、本当はこんなにわくわくする場所だったのです。
学校観が180度変わる
”うれしい衝撃の授業風景”をご覧ください。



自分のままでいいんだよ。
ひとりひとりの個性を大切にした
子どもファーストな3つの学校が登場。
わくわくがとまらない
”ミライの教育ドキュメンタリー”の
誕生。



ミライの公教育がここにある。

映画には、「自由な公立学校」も登場します。
60年間成績通知表や時間割がない「体験型総合学習」を続ける公立小学校、伊那小学校。
校則、定期テストをやめた、世田谷区立桜丘中学校の西郷孝彦前校長。
実は、公立学校にもこんなに自由があったことに驚かれるでしょう。
あなたの町の小学校も、「夢みる小学校」なのです。

全国900箇所で上映された大ヒット映画「いただきます」シリーズのオオタヴィン監督が「きのくに子どもの村学園」に1年間密着。
ナレーションは、吉岡秀隆。エンディングテーマは、ザ・ブルーハーツ。
出演は、堀真一郎（きのくに子どもの村学園学園長）、福田弘彦（伊那市立伊那小学校校長）、西郷孝彦（桜丘中学校前校長）、
茂木健一郎（脳科学者）、尾木直樹（教育評論家）、辻信一（文化人類学者）、高橋源一郎（作家）

【引用】

まほろばスタジオ「夢みる小学校」ホームページ [夢みる小学校 ミライの「公教育」がここにある。希望あふれる”教育変革ドキュメンタリー”。](http://dreaming-school.com) (dreaming-school.com)

夢みる小学校 予告編ロングヴァージョン <https://youtu.be/mfmm8oviWQ0>

第1号様式（第7条関係）

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">2023年 1月 8日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: right;">所在地 提出者 名称 小さな教室カクツクル 代表者氏名 会長川島真理子</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	<p>⑥ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業</p> <p>⑬ 子どもの健全育成を図る事業</p>
事業の名称	子どもアニメーション体験教室
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和5年 4月 1日から 令和6年 3月 31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	小さな教室カクツクル
連絡先	
設立年月日	令和4年 8月 1日
構成員数	4人（うち役員 3人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 2人 その他 2人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（ サポセンに登録 ）
設立の経緯	教育と保育に携わる二人が、アートに長年関わってきた経験を活かし茅ヶ崎市の学びの市民講師として「ハマミーナ」で夏休みに子供向けアニメーション講座を開催したことをきっかけとし2022年8月に任意団体を設立。
活動の目的	本会は、学びと創造に関する活動を行うことにより、子どもの育成支援及び家庭の支援を目的とする。
主な活動内容	・子どもアニメーションづくり体験教室 ・その他、目的の達成に必要な活動
年間決算額	円
補助金の状況	団体名： 補助金の交付を受けた年度： 補助金の名称：

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する口にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>【令和5年～6年 4回/年 開催予定】</p> <p>■1回目) 令和5年 8/19日(土)・20日(日) 13時-17時 @まちスポ茅ヶ崎 定員6名 参加費 1,000円/全2回分 茅ヶ崎にまつわるストーリーを題材に、スマートフォンのアプリを使ってコマ撮りアニメーションを制作します。 *対象) <u>小学3～6年生</u> ※候補: アニメーション 作家 (東京造形大学): 若見ありさ また、近隣地域の大学生もインターン的に参加し交流をはかります。</p> <p>■2回目) 令和5年 8/27(土) 終日(公開10時～16:30時) @サンノイチ 参加費なし。1の参加者の作品発表・展示上映会 ※児童の作品の公開上映と共に、そのプロセスのドキュメントによる、メイキング・参考作品&デモ用セットを設置し、児童や一般市民との“交流の場”として演出します。</p> <p>■3回目) 令和5年 11/3日(祝木) 10時-12時・13時-15時/全2回 (120分×2回入れ替え制) @まちスポ茅ヶ崎 各回定員6組計12組 参加費 1,000円 *対象) <u>小学3年生～中学3年生</u> スマートフォンのアプリを使ったインプロ(即興)アニメーションづくり。</p> <p>■4回目) 令和6年 3/9(土) 10時-12時・13時-15時/全2回 (120分×2回入れ替え制) @まちスポ茅ヶ崎 各回定員6組計12組 参加費 1,000円 (子供上限6名+各1名付添人としての保護者を含む) *対象) <u>小学1年生～6年生とその家族などで世代間の交流を促す</u> スマートフォンのアプリを使ったインプロ(即興)アニメーションづくり ※コロナ対策: 入口に体温測定器と消毒を設置し受付します。 30分おきに換気を行います。</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>過去にワークショップを開催した際に、毎週の習い事としては時間や家計の問題で難しいが子ども本人は経験をしたがっているなどの意見をいただく事がありました。</p> <p>様々な理由により体験活動をしてない児童と習い事や旅行などの体験活動をしている児童との「体験格差」がある中で「誰でも」「気軽に」表現活動に参加し、体験できる場が求められていると感じました。</p> <p>児童だけではなく成人であっても、そのような体験は生きるうえで重要です。私たちはアニメーションを主軸にしたアート活動で表現する楽しさを児童や一般市民のみなさんに体験してもらい、身近にあるスマートフォンや家庭にある道具を手軽に用いることで、受け身ではなく、自分ならではの表現を行い、地域内外に発信することがこれからの時代に有効ではないかと考えました。</p>
<p>事業の目的や効果 について</p>	<p>総合芸術であるアニメーションには、ストーリー企画、背景や世界観作り、サウンドやタイミングを含めた実験性などの要素があります。普段は受け身で漫然と見てしまいがちな動画を、作る側に立つことでメディアリテラシー的な観点を養い、また、茅ヶ崎地域や自分に身近なテーマの発見・発信の手段としてとらえ、人によっては将来の表現やプロ活動にむけたきっかけに繋がるような創作体験を提供したいと思います。</p> <p>具体的には・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信(子供たちにとって自分がつくったという達成感)がつく。 ・主体性(作品の方向性やゴールを自ら導く意思)を育む。 ・創作の楽しさに触れ、考える力を伸ばす(創造性豊かなまちへ) ・茅ヶ崎の地域性(風景・映像・物語からアニメーション)を活かした創作につなげることで、子ども達が地域への愛着を持つことや、また、プロや近隣の学生との交流の場として機能することも意図しております。

<p>事業の広報 について</p>	<p>(使用予定の媒体にチェック) <input checked="" type="checkbox"/>チラシ・ポスター <input type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物 <input checked="" type="checkbox"/>ホームページ <input type="checkbox"/>Facebook <input checked="" type="checkbox"/>Twitter <input type="checkbox"/>その他のSNS () <input checked="" type="checkbox"/>市の広報紙 <input type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input type="checkbox"/>口頭にて伝達 <input type="checkbox"/>その他 () コミュニティセンター (11館×10部ずつ)、ちがさき市民活動サポートセンター (50部) です。学童クラブなどの施設へチラシの掲示を依頼します。各回については、市広報紙への掲載を依頼します。また、8月以降も継続参加の意志がある方のうち、希望される方には、ダイレクトメールを送って継続を促します。</p>
<p>今後の展望 について</p>	<p>1 小学校区ごとに巡回し、活動をしたいと考えています。 2 大学のゼミ生とのプロジェクト制作 (※展示構成上での工夫) 3 参加者アンケートや制作工程などのドキュメント化を行い、参加者の作品も (事前に掲載許可を得た上で) YouTube などのプラットフォームを利用し Web 公開します。</p>
<p>事業の実施体制 について</p>	<p>総括 代表者 1人 副代表 1人 会計補助 1人 広報・イベント補助 1人 【協力者】 講師 アニメーション 作家 1人 (8月の1回)</p>

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1 団体収入	14,909	「小さな教室カクツクル」にて負担(会費、団体への寄附等、団体資金から充当)
2 事業収入	30,000	参加費(イベント参加1組1000円×6組=6,000円×5回)
3 補助金収入	100,000	市民活動推進補助制度
合 計	¥144,909	

支出

科 目	金 額	内 訳
賃金(会員外)	48,000	学生インターンアルバイト(6,000円×3回…8月講座2回+展示補助1回) アニメーションプロ作家への講師謝礼 30,000円(交通費込み1人×1回…8月講座1回 目)
旅費	9,344	電車(JR矢川-茅ヶ崎990円)+バス(茅ヶ崎駅-浜見平団地178円)片道1,168円×往復 ×会員1人×4回
物品費	41,669	アルコールマーカーセット(Ohuru太細油性60色) 3,699円×6個 撮影用クリップライト 1,699円×6台(スマホスタンドの影防止) 細工用はさみ(ALLEX アレックス スリム140フッ素コート ブラック 11164B) 1,136円×6 個 トレーシングペーパー 485円×1(トレース描画用・光量拡散用) 紙 110円×3セット(画用紙・方眼厚紙・色紙) 手指消毒液 110円×3セット 固定用マスキングテープ 110円×6個 のり 110円×6個
委託費	12,000	パンフチラシデザイン料12,000円(外注2枚分)
印刷製本費	9,696	★団体パンフ印刷代(A4カラー両面巻き3つ折マットコート1000部=6459円) イベントチラシ印刷代(A4カラー両面500部 3237円) *参考:印刷会社:MAHITO DESIGN
通信運搬費	2,800	切手代(チラシ・パンフ入封書郵送140円×20箇所)) *参考:児童クラブ等関連施設
保険料	2,400	レクリエーション保険 1名50円/日×のべ48名 *参考:付添人含め最大参加者6+6+12+24=48
使用料・賃借料	19,000	サンノイチ賃借料1日 ¥2,000+プロジェクター/スクリーン600円=2,600円(8月展示) まちづくりスポット茅ヶ崎賃借料 16,400円(8月2回/11月/3月講座 下記詳細*) *内訳:7時間4100円×4日(30分/250円×14=3500円+機材600円×4)
合 計	¥144,909	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

スマートフォンでつくる **夏休み特別企画** **子どもアニメーション体験教室**開催

会場 **ハマミーナまなびプラザ** 倉庫裏

日程 **8月1日(日)**
 時間 **13:30~16:30**
 対象 **小・中学生**
 料金 **1,000円**

おうちのつくりかたメモ by カクツクル

STOP MOTION STUDIO (無料アプリ) をインストールして、サカナのサンプルをみます
 (*おうちの方へ: 教育機関でも使われているアプリで、広告や課金ボタンもありません。高性能な有料版も便利です)

ポイント
 スマートフォンやiPadなどのタブレットで作成 (このスライドはiPadメニューより)

口をおすと、かくれたメニューが出てきます

まずサンプルぜんたいを▶で再生、次に1枚1枚の絵をみると、とちゅうで手が入っている絵も・・・

ポイント
 手が写らないようにシャッターを押して、動かした「もの」だけをしゅんぱんに見ると・・・
 「おや、うごいて見える!」
 (約100年前の発見でアニメーションができた)

「新規ムービー」をえらび、6枚ほど「止まった絵」をとります。丸い赤ボタンをつけておきます。

ポイント
 いよいよ作ります!
 さいしょは、とまった風景などをみせて、ここはどこかがわかってから「登場人物」が出てくることが多いよ。
 (はじめてアニメを作るとき、シャッターが自動的に何枚も押される場合もあります。止まったら、画像を選んで押しして削除できます)

シャッターボタン

はぐるまのアイコンで設定を確認できます。まがった矢じるは「1つ前の状態に戻る」です

ポイント
 時計マークが=はやさ
 今回のアニメーションは1秒に6枚の絵
 (多いと時間がかかるが、なめらかでゆっくりにした動きになる。少ないと、カクカク早くうごけど、これもかわいい!)

シャッターボタン

いきものが出てくるときは、ワクのはしっこで→一部みせ→全部みせ→はしっこへとうごかします

さうえいしたら、動きをみるため、みぎの▶の再生(さいせい)ボタンをおす。

(「前の絵がすぎとおつてみえる。これでズレやちがいをチェックします。)

再生ボタン

カメラに近づけておきしたり、はやく～ゆっくりうごかしたり、メリハリをつけてみましょう

さいごは、からだの一部がだんだんカメラにうつらないよう、左右にずらしていきます。

ちいさな○を大きな○に「おきかえる」と、どんどんフルーツがそだっていくようにみえます

さつえいが終わったら、左下の < 印でもどると、今までの作品がぜんぶみえます

おわたった作品の○をVチェックして、左上2番目アイコン「ムービーエクスポート」でかきだします

ポイント

- ・ムービーエクスポートをすると、ネットで皆が見られる動画になります。
- ・GIFアニメーション → SNSやWeb用の「うごく絵」（軽いけど画質が劣め）になります。
- ・イメージ → 1枚1枚の静止画になります。
- ・パラパラマンガ → どんなふうに保存されるかな？ 試してみてください。
- ・プロジェクト → このアプリだけで見られる形式。

動画にかきだしたら、好きな方法でネット公開や「保存」をして、みんなにみてもらいましょう

ポイント

連携アプリは、自分のスマホの設定によって変えられます。
動画をすぐネットで公開したいとき→Youtube、SNSアプリなど
動画をスマホやタブレットに保管しておきたいとき
→ビデオを保存（ふだんの「写真」とおなじ場所で再生できます）

第1号様式（第7条関係）

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年 1月 10日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: center;">所在地</p> <p style="text-align: center;">提出者 名称 うみこころ</p> <p style="text-align: center;">代表者氏名 代表 大内 涼子</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	環境の保全を図る事業、 人種の擁護または平和の推進を図る事業、こどもの健全育成を図る事業
事業の名称	うみこころ 「みんなこの地球に生きるおなじ命」～イロトリドリの命を大切に、平和をつくる～
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	2023年 4月 1日から 2024年 3月 31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

第2号様式（第7条関係）市民活動団体概要書

名称	うみこころ
連絡先	
設立年月日	2022 年 12 月 1 日
構成員数	3 人（うち役員 人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 3 人
情報の公開の方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホームページへの掲載（あり） ■ その他の方法（Instagram、公式 LINE、youtube）
設立の経緯	<p>新江ノ島水族館で上演されていた「Dorfelia」というショーに出演したことがきっかけです。当時学んだことは「地球上に生きるすべての生き物は同じ命であり平等である」ということ。言葉の通じないイルカと一緒にショーをすることで「あなたはあなた、違うことが素晴らしい、その考えが平和につながる」ということです。ショーは休演してしまいましたが、伝え続けていきたいと強く感じたので出演する2人が中心となって設立しました。そのサポートに1名団体に加わり3名体制で活動しています。</p>
活動の目的	<p>出逢えた人に笑顔になってほしい、生きていくちいさな支えになりたい 生命の大切さ（生命の教育、食育）、地球と共存していくこと（地球環境保護）みんなそれぞれ違うことが素敵だということを伝えるため</p>
主な活動内容	<p>ダンス、歌、おはなし等のパフォーマンス活動 学校や公民館などのステージLive活動</p> <p>【団体設立前の過去活動実績】</p> <p>新江ノ島水族館「えのすいフラワーナイト」2019.4 《公民館でのステージ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うみこころファミリーコンサート」2019.8 ・「小和田公民館音楽祭」2019.12 <p>《ショッピングモールでのフリーライブ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茅ヶ崎イオンスタイル・湘南モルフィル・OSC湘南・Mr.Max湘南藤沢 <p>※コロナ禍で実施できなかったのですが、養護学校と私立高校からも声をかけていただき出張パフォーマンスを実施予定でした。</p> <p>現在も学校の先生から子供たちにうみこころのパフォーマンスを見てほしいと声をかけていただいております、今後予定しています。</p>
年間決算額	0 円
補助金の状況	<p>団体名： 補助金の交付を受けた年度： 補助金の名称：</p>

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>うみこころ 「みんなこの地球に生きる同じいのち ～イロトリドリの命を大切に平和を作る～」</p> <p>日程 12/9(土) 予定 (1時間を予定)</p> <p>場所 茅ヶ崎文化会館小ホール（予約制） （対象）茅ヶ崎市民 （費用）大人 ¥1,000 子供（未就学児～高校生）無料 オンライン ¥300 会場定員（188名）</p> <p>ステージ参加人数 定員 30名</p> <p>内容 歌と踊りとおはなし（セリフ）で地球に生まれる命がイロトリドリであることを表現します。 まずは命の誕生、1人が歌い、もう1人は命の誕生を表すダンスをします。静・・・喜び。この誕生した命はたくさんの命を繋ぎいただくことで、今生きていることを知ってもらう・・・。</p> <p>うみこころオリジナルのお話を歌とダンスで表現します。 （内容は補足資料参照）</p> <p>最後には、うみこころオリジナルソングの「うみとこころ」をステージと一緒にパフォーマンスしてくださる方を、事前募集して（チラシなどで募集をかけます。参加定員30名）※何回か練習をオンラインで行います。簡単な振り付けと歌と一緒に歌う予定。リハーサルで合わせます。 イロトリドリの世界を表現します。 地球も動物も植物も同じ命であること、この地球はみんなが住む一つしかない星だということから地球環境問題に目を向け、さらに、自分はたくさんの命を繋ぎ、いただくことで今生きていることを知ってもらう。そして自分のことも相手のことも大切に思える、地球に感謝したくなるような時間作ります。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対策】 参加者は事前に把握し、マスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。</p>
------------------------	---

<p>事業の背景 について</p>	<p>私たちは、コロナ以前に新江ノ島水族館で行われていた「Dolferia」というショーに出演していました。当時、たくさんのお客様から 「生きる勇気をもたらした」 「自分が生きていることに感謝したくなった」 「自殺を考えていたがやめました」 そのような言葉をいただくことがよくありました。</p> <p>私たちがパフォーマンスをすることで 誰かの生きる勇気になる、 自分を大切にすることで、 周りを大切にすることができ、 地球上のすべての命と共存することができるようになる と思い、ショーが休演した今も、同じ想いをもち、うみこころオリジナルのパフォーマンスで伝え続けています。</p> <p>うみこころとして活動する中でも 「心に響く歌やダンスで元気をありがとう」 「命の尊さを感じるステージだった」 「命をいただく・・・とても考えさせられた」 などたくさんのお声をいただいております。</p> <p>少しでも地球のことに目を向け 他のいのちを思う 自分の命はたくさんの生命を繋ぎ生きていることを知り 今、出逢えて同じ時代に生きている奇跡を感じてほしいと思っています。</p> <p>コロナをきっかけに、人と会えない、触れることができない、など他者との関わりが減り、将来への不安も増えたことから、市民も一緒にステージに立ち、ステージを通して、他者との繋がりを持ち、希望を感じられるような事業が必要だと思っています。</p> <p>コロナが起これば、私たち自身もパフォーマンスの機会をなくしましたが、2023年、今の時代こそ、パフォーマンスを通してこのことを伝えていきたいと思います、このステージを企画しています</p>
-----------------------	---

第4号様式（第7条関係）収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
事業収入	¥131,000	入場料 大人 ¥1,000 (125人) 未就学児～高校生 無料 (63人) オンライン配信 ¥300 (20人)
補助金	¥100,000	
合計	¥231,000	

支出

科 目	金 額	内 訳
音楽制作委託料 舞台背景委託料	¥80,000 ¥20,000	オリジナル音源作成依頼 舞台背景絵画制作依頼
謝金	¥15,000 (カメラ) ¥6,000 (受付2名分) ¥5,000 (オンライン配信) ¥50,000 (ベビーシッター)	当日のカメラ撮影 (¥15,000×1人×1回) 受付、お手伝い等への謝礼 (¥1,500×2H×1回×2名) オンライン配信お手伝い (¥5,000×1人×1回) リハーサル時と本番の出演者の託児 (¥5,000×2家族×5回) ※オンライン練習3回 現地リハーサル1回 本番1回
交通費	¥4,000	駐車場代 (現地へは車) 当日とリハーサル日の駐車場代
印刷製本費	¥5,000 ¥2,280	当日パンフレット (200部) 広告宣伝チラシ (1000部)
使用料・賃借料	¥16,710 ¥9,830	茅ヶ崎文化会館レンタル料 (本番とリハーサル2日分)

<p>使用料・賃借料</p>	<p>¥2,060 ¥700</p> <p>¥5,900 ¥8,040 ¥480</p>	<p>本番楽屋レンタル料 (出演者、参加者用2部屋本番と リハーサル2日分)</p> <p>プロジェクター使用料 (背景に絵を映写)</p> <p>マイクレンタル料 マイクスタンドレンタル料</p>
<p>合計</p>	<p>¥231,000</p>	

「みんなこの地球に生きる同じ命」
～イロトリドリの命を大切に、平和を作る～

「まだ、人間は争うことをやめないの？」 「まだわからないの？」

わたしたちは元々、1つ 全ては1つだった
あなたとわたし わたしとあなた
この地球では別々のように見える でも本当は1つなんだ

肌の色、言葉、顔、声 好きなもの、嫌いなもの 仕事、家族 価値観

私たちはこの地球で 「違い」を経験したかった

だから、みんな違う色をしている

遠くから見るとなんて鮮やかで綺麗な色たち
1つ1つ違うから美しい
1つ1つ違うから地球は輝いてるんだ

この地球に生まれると決めたとき
1つからたくさんの命に別れて地球に降りていく
地球では命を繋ぐことで生きることができる
私たちが食べている魚も、肉も、野菜も全て生命
生命を繋ぐことで私たちはこの地球に生きている

あなたは誰？
あなたの命はどれだけたくさんの命を繋ぎ鼓動を鳴らしているの？

今ここに生きていることは当たり前なんかじゃない

奇跡の1つなんだ

大きな大きな1つのエネルギーが無数の命にわかれ
たくさんの色を放ちこの地球にやってくる
あなたと私が今、ここで出会える確率なんて
たくさんの雨粒からたった1つを見つけるくらい奇跡なんだ

あなたと話せること
あなたと笑い合えること
あなたと苦しみを乗り越えること
今、あなたと幸せを分かち合えること

全ては奇跡の1つ
だから色の違いを責めないで 価値観の違いを攻撃しないで
自分の考えを押し付けしないで 自分を守るために誰かを攻撃しないで

私たちはみんな、1人1人が存在している ただそれだけで素晴らしいのだから

あなたがいてくれるだけで嬉しいんだから
地球に生まれてきてくれてありがとう
その美しい色を放ち、今、生きてくれてありがとう

私たちは1つだった
今、「違い」をもって生きているけど
あなたはわたし わたしはあなた 生まれてきてくれてありがとう
ここにいてくれてありがとう
あなたとして、生きてくれてありがとう

イルカショーで出会い 歌と踊りのグループ

あす「えのすい」で初有料ライブ



ショッピングモールでのライブ。終了後は花やプレゼントを手にしたファンと握手が続いた＝藤沢市

新江ノ島水族館(藤沢市)のイルカショー「ドルフェリア」に出演して出会った3人の女性が「ショーの卒業後もステージを続け

よう」と歌と踊りのグループ「うみこころ」を結成し、12日、古巣の水族館で初の有料ライブを開く。

「ドルフェリア」は4人の女性が演じるパフォーマーがミュージカル風にイカと演じる週末や夏休みなどの特別なショーだ。カラフルな衣装のパフォーマーは歌って、踊って、泳ぐ。

「うみこころ」のSATOさん、RYOさん、SANAさんは県内で暮らす30代。歌や踊りのキャリアは10年以上で、ミュージカルやアーティストのライブ、テーマパークのショーに出演してきた。

一昨年、「ドルフェリア」のファンらの前でパフォーマーの経験者5人がライブを開催。活動は中断したが、昨秋、3人が公民館などで練習を再開した。伴奏を電子オルガンやピアノ

で弾いてもらって録音し、振り付けは自ら考える。

年明けから商業施設でフリーライブを4回重ねて経験を積んだ。水族館が閉園後に相模湾大水槽の前で開く「えのすいフライデーナイト」への出演で、プロとして新たな一歩を踏み出す。

ライブのテーマは「命の大切さ」。踊りだけの曲も含めて15曲ほどのプログラムの中で、英国の少年合唱団が歌って日本のドラマの主題歌になった「生命の奇跡」が柱になる。さらに内

県高校野球春季大会

園学 13日保10:00	上大 14日平10:00	南学 13日須10:00	商大 20日保10:00	倉学 13日侯10:00	浜学 14日相12:30	花学 13日平12:30	27日保10:00	27日保12:30	13日伊10:00	14日相10:00	13日相12:30	20日保12:30	13日保12:30	14日平12:30	13日伊12:30
藤学 13日保10:00	大上 14日平10:00	学院 13日須10:00	商大 20日保10:00	倉学 13日侯10:00	浜学 14日相12:30	花学 13日平12:30	27日保10:00	27日保12:30	13日伊10:00	14日相10:00	13日相12:30	20日保12:30	13日保12:30	14日平12:30	13日伊12:30
相模 13日保10:00	原大 14日平10:00	相模 13日須10:00	相模 20日保10:00	相模 13日侯10:00	相模 14日相12:30	相模 13日平12:30	27日保10:00	27日保12:30	13日伊10:00	14日相10:00	13日相12:30	20日保12:30	13日保12:30	14日平12:30	13日伊12:30
相模 13日保10:00	原大 14日平10:00	相模 13日須10:00	相模 20日保10:00	相模 13日侯10:00	相模 14日相12:30	相模 13日平12:30	27日保10:00	27日保12:30	13日伊10:00	14日相10:00	13日相12:30	20日保12:30	13日保12:30	14日平12:30	13日伊12:30

決勝は28日 保土ヶ谷球場13時

球場は、保＝保土ヶ谷、平＝平塚、大＝大和、相＝相模原、須＝横須賀、秦＝秦野、伊＝伊勢原、侯＝侯野

春季関東高校軟式野球大会 県予選

横濱創学館 20日高10:00	横濱修徳館 14日高10:00	桐蔭中等 29日保10:00	聖光学院 14日聖10:00	日大藤沢 20日高12:30	自修館上 5月5日侯10:00	横濱隼人 14日高12:30	平塚商・平塚ろう 13日南10:00	星槎 28日栄12:30	光明相模原 13日南12:30	横濱商二大 14日栄12:30	横濱政 5月6日保13:00	日商 14日聖12:30	武相 13日武10:00	武商 29日保12:30	桐蔭学 13日武12:30	桐蔭学 21日武12:30
-----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	----------------	--------------------	--------------	-----------------	-----------------	----------------	--------------	--------------	--------------	---------------	---------------

県予選13日開幕 春季関東高校軟式野球 第67回春季関東高校軟式 野球大会県予選(県高野連)

主催)の組み合わせ抽選会が10日、鎌倉市の栄光学園であった。

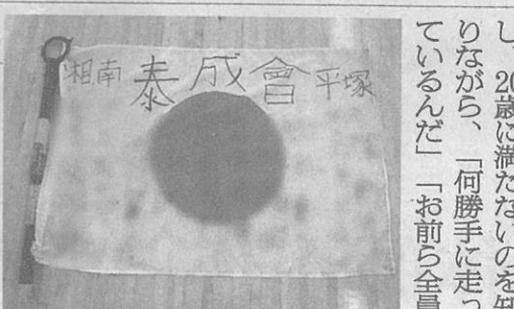
13日に始まり、23チームが参加する。決勝は5月6日に保土ヶ谷球場である。

3回戦以降の日程決定 県春季高校野球

県高校野球春季大会は2回戦が終わり、県高野連は3回戦以降の球場と試合開始時刻を発表した。

暴走族強制加入 容疑の男を逮捕

「湘南平塚泰成会」の旗。下部にはメンバーの名前が書かれている＝県警提供



田美智子作の絵本「いのちをいただく」を朗読して「食べる」「生きる」の意味を問いかける。

J-POPやミュージカル曲、デイズニーとなじみのある曲がレパートリーに並ぶ。「クリスマスには次のライブを」と意気込む。

午後7時～9時半、定員190人。参加費は5500円～6500円。問い合わせは、えのすいフライデーナイト事務局(0466・29・9947)へ。

(山本真男)

「湘南平塚泰成会」の旗。下部にはメンバーの名前が書かれている＝県警提供

し、20歳に満たないのを知りながら、「何勝手に走っているんだ」「お前ら全員

メンバーら16人も摘発

県警は10日、暴走族「湘南平塚泰成会」の幹部で建築作業員の男(19)＝寒川町＝を県暴走族などの追放の促進に関する条例違反(暴走族の指導、金品要求などの禁止)の疑いで逮捕し、発表した。容疑を認めているという。

交通捜査課によると、男は昨年2月、少年5人に対して

第1号様式（第7条関係）

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年 1月 12日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: center;">所在地</p> <p style="text-align: center;">提出者 名称 ふるさとファーマーズ</p> <p style="text-align: center;">代表者氏名 代表理事 石井雅俊</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 (7) 環境の保全を図る事業
事業の名称	広報紙の作成と発行
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和5年 4月 1日から 令和6年 3月 31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	ふるさとファーマーズ
連絡先	
設立年月日	2021年 5月 1日
構成員数	9人（うち役員 4人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 5人 その他 4人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 https://furusatofarmers.wixsite.com/mysite <input checked="" type="checkbox"/> Instagram https://www.instagram.com/furusatofarmers/ <input checked="" type="checkbox"/> Facebook https://m.facebook.com/furusatofarmers/
設立の経緯	環境問題や食糧の多くを海外からの輸入に頼っている日本の現状を、茅ヶ崎市から変えていきたいという思いで設立した。そのためには国産の食べ物を国民が食べる割合を増やすことが重要であると考えている。上記を実現するために団体で畑の運営に取り組み、SNS等で情報発信を開始した。
活動の目的	食糧自給率の向上、気候変動への具体的な対策など、戦争や災害等の万一の事態に対処するために「地産地消」という考え方の浸透を目指す。まずは畑に立ち、共感できる人を増やすことで環境保全の意識、食料自給率の向上に貢献していく。
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農作物の生産および販売 ・ 農業体験ボランティア受け入れ ・ 企業労働組合とのパートナーシップ ・ 里山保全活動
年間決算額	323,201円
補助金の状況	団体名：かわさき市民活動センター 補助金の交付を受けた年度：2021年、2022年 補助金の名称：かわさき市民公益活動助成金

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けてい

事業計画書

実施する事業 について	<p>環境の問題や農業の大切さ、畑や地域での活動等を広報するために 広報紙発行を行う。</p> <p>(内容)</p> <p>ふるさとファーマーズ（以下当団体）の活動報告や今後のイベント 告知していく。紙面を通して茅ヶ崎市民の皆様にも農業や環境、食等 に関する社会問題について発信しながら興味を持っていただき、当団体 が社会問題に対してどのように取り組んでいるのかを発信、実際に茅 ヶ崎里山公園に隣接している畑に来ていただき、自給率や農業、環境 の大切さなど、農作業を通して学ぶ場を提供。行動に移してもらっ かけづくりを行う。また、環境にもっとも配慮した栽培方法、不耕 起栽培農家さん八一農園さん(茅ヶ崎市芹沢)や藍染工房 saiai studio さん(茅ヶ崎市芹沢)などにもご協力いただき、ふるさとファーマー ズ以外の、農から環境問題を考える取り組みなどもインタビュー。</p> <p>当団体の活動内容や理念に共感してもらえる個人や団体に援農ボラ ンティアに参加してもらいメンバーの加入に繋げ、畑の活動量を向上 していく。また今後企業や他団体とも提携し、野菜やイベントの提供 を拡散していく予定である。</p>
事業の背景 について	<p>農林水産省が発表したデータによると、日本の食料自給率は 1965 年には 73%だが、食の欧米化や農家の担い手不足により年々下降して いき、2019年度はカロリーベースで 38%となっている。つまり 55 年 間で 34%も下落したことになる。昨今のコロナ禍で、一時期、ロシア をはじめ十数か国からの食品輸入がストップしてしまい、自給率が特 に低い小麦(12%)関連の商品が軒並みスーパーから姿を消すという事 例が起きたこともあり、日本の食の脆弱性を危惧している。今後再び コロナのようなパンデミックや、大きな災害、戦争などが起きた場合、 海外諸国は食品輸出を制限し、その結果、日本国民の 62%が飢えてし まうというデータもある。また気候変動がそのまま進んでいくと、6 0年後には表土消失との国連発表もあり、予測のできない事態や問題 に対処するため、今からでも出来ることは何かを発信し、畑を通して 社会問題の解決に取り組む。</p>
事業の目的や効果 について	<p>タキイ種苗のデータによると日本人の半数が家庭菜園の経験者であ り、実施していない群でも 4 割が意欲的であるという結果が出ている。 しかし農家高齢化により活用困難な農地の面積は徐々に増えている が、未経験者が畑を持って取り組むことのハードルは高いと感じられ ているのが現状である。茅ヶ崎市の活用困難農地の解消や畑を通じて 農業に関する茅ヶ崎市内の社会問題や環境問題への認知や周知に繋げ ていく。また当団体の取り組みを認知してもらい、市内の地産地消の 考えを浸透してもらい、茅ヶ崎市内で生産された食糧の消費量向上に 貢献する。</p>
事業の広報 について	<p>(使用予定の媒体にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/>チラシ・ポスター <input checked="" type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ホームページ <input checked="" type="checkbox"/>Facebook <input checked="" type="checkbox"/>Twitter <input checked="" type="checkbox"/>その他の SNS (インスタグラム)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>市の広報紙 <input checked="" type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input checked="" type="checkbox"/>口頭にて伝達</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他(茅ヶ崎養護学校、鶴嶺高等学校、茅ヶ崎里山公園、南湖ハウス、みんなの家、 しゃぶしゃぶ BAR 菩提、バンテラネグラなど)</p> <p>・刊行物の配架を考えているのは、市役所や公民館、コミュニティー センター、ちがさき市民活動サポートセンターです。</p> <p>・必要に応じて、企業や個人にも刊行物の配布を依頼して、活動の認 知を広げていきます。</p>

<p>今後の展望 について</p>	<p>2年後を目処に、茅ヶ崎市の食や農業、自給率や環境問題について考える場としてのモデルケースを構築します。茅ヶ崎市は、多くの農産物が生産されているにも関わらず、スーパーに置かれている食糧は外国産のものが多くというのが現状です。この状況を改善すべく「茅ヶ崎の野菜を食べよう！」と幅広く呼びかけるほか、また、1980年から現在までに、市内の農業従事者は20万人も減少している上に、農業従事者の70%が65歳以上であるというデータが発表されました。一人でも多くの茅ヶ崎市内の若者たちに農業や第一次産業に注目してもらうため、SNSやHPを使った情報発信をするほか、「楽しく、美味しく」をテーマにしたイベントを企画し、私たちの活動の認知度を高めていきます。4年後には活動を関東の一都六県に、ゆくゆくは全国にまで広げ、日本の食料自給率の向上を目指します。また、これらの活動により雇用が創出されるため、地方活性化にも繋がり、都市部に密集して人口を分散させることも可能となります。</p>
<p>事業の実施体制 について</p>	<p>代表 1名 副代表 2名 広報担当者 1名</p>

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1 団体収入	14,240	団体活動費より充当
2 補助金収入	100,000	市民活動げんき基金補助
合計	114,240	

支出

科 目	金 額	内 訳
1 印刷製本費	99,840	★広報紙 14,000部 ●年4回発行
2 交通費	14,400	●タブロイド紙 往復¥900×4回×4人分の交通費（中島～畑のある芹沢入り口まで）
合計	114,240	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

- 備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。
- 備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

茅ヶ崎市を中心に農家と消費者をつなぐ活動を展開する男性がいる。川崎市出身の石井雅俊さん(34)は新型コロナウイルス感染拡大が本格化した一昨年5月、「ふるさとファーマーズ」と銘打

て活動に本腰を入れた。市民が農家を支援する活動「援農」を通じて、多くの市民に農業の現状を訴えている。「農業の大切さや、後継者問題を伝えていきたい」と意気込んでいる。(鈴木 崇宏)

「援農」活動

「川崎出身石井さん」



のらぼう菜が育つ畑で作業をする石井さん＝茅ヶ崎市

体験の場提供、自然栽培も

「食糧自給率の低い日本で、食への困り感が増えている。食の当りかと思つた」と石井さんは当時を振り返る。自ら農家を営むだけでは農業の重要性は伝わらないと考え、団体を設立し、消費者に農業を直接体験してもらうことを主眼にした活動を始めた。

これまで、自然食品を販売する店舗で店長を経験したことはあったが、農業は「素人」。湘南エリアの農家を訪ね歩き、アドバイスを受け手探りで学び始めた。

昨年4月には茅ヶ崎市内の畑約1500平方メートルを借りてニンニク、トマト、川崎市特産の野菜の10品種

農業の大切さ知って

「鎌倉」

新型コロナウイルス「鎌倉分サークル」(大津定博代表)は市職員と連携して接種会場内で高齢者を誘導。ついで車いすを介するお年寄りに声を掛けて介助したり、出入り口を案内するなど、会場内でのスムーズな接種を支援した。

2009年からイベント「大津代表は「足腰の弱い



「甘い香り漂わ 城ヶ島公園 八重咲きスイセン」

「横浜市民の広場」

スマートフォンの戸籍や税の証明書を申請できます

「放課後クラブ」

児童の作品展



ふるさとファーマーズ

農家と消費者のかけ橋に

援農通じ、持続可能な農業目指す

川崎市出身の会社員・石井雅俊さん(34)が昨年5月に発足した同団体「ふるさとファーマーズ」は、日本各地の農産物の輸出を一時的に規制したことで、国内のスーパーが小麦粉や大豆製品が不足したのを見て、一念発起。大手住宅メーカーも参入した。「日本の食を守りたい」という思いを持つ有志者がチームを組み、これまで購買力の有機栽培農家を皮切りに、香川や千葉などで援農を行ってきた。

現場を知るにつれて感じたのは、生産者と消費者それぞれの「食」への意識を繋ぐ必要があるという。石井さんは「効果や価格、見栄えなどの見栄えだけでなく、次に食の味や香り、安全性の確保をまわす必要がある」と訴えている。

「農業は化学肥料を使わない安心安全な野菜を、誰か食べる世の中に。茅ヶ崎公園に隣接する農地では、年齢も職業もさまざまな者が「自然栽培による野菜」を通じて、生産者と消費者のかけ橋となる「ふるさとファーマーズ」の役割を受け入れる「ファーマーズ」を開設。日本の農業や食糧の現状について、それぞれの立場で見直し、持続可能な農業を目指すNPO団体を立ち上げた。

「自分たちが消費者の間にあって、つなげていこう」と思ったと語る。その子も、若いうちから農業の大切さを伝えて、日本の農業の発展に貢献したい。

「ロコケット」期限迫る

茅ヶ崎市が今年3月から4月に発行した「茅ヶ崎ローカル応援チケット」(ロコケット)第2弾の期間が9月30日までに迫っている。茅ヶ崎ローカル応援チケット(ロコケット)第2弾は、茅ヶ崎市内の小企業・小規模事業者を支援するため、今春発足した。1万3000円のチケット

「後継者がいない農地で自然栽培」

茅ヶ崎での活動は今年4月から。里山公園のついで、後継者がいない片沢の農家「田代さん」(74)の畑の一部を石井さんらNPOが運営し、里山公園もサポートに入ることが決まった。

「ここでは土も肥料も一切使わず、土の微生物や雑草の根、虫などの力を生かして、種から野菜を育てています。理想は『ロコケット』で食べたい野菜が増えている。『今だけ、自分だけ、お金だけ』という考えは、お金の流れが循環する人々を巻き込んで、次世代への『種』をまわしていきたい。

茅ヶ崎市内の小企業・小規模事業者を支援するため、今春発足した。1万3000円のチケット

「HAKUEIKIMがライブ」

ハスキーズギョウリイで「ジャズ」を開催する。ライブの演奏でジャズを聴く。

茅ヶ崎から徒歩1分のハスキーズギョウリイ(新築町の1山治ビル)で10月3日(日)19時30分開演、4時間限定、20人限定。5500円(ドリンク付)。

「冬のひまわり」今年も

55団体が種まき

市内秋田北野 小出川がひまわりの種まきを行った。開花は月頃を予定しており、同会は「冬のひ

「ロコケット」

茅ヶ崎市内の小企業・小規模事業者を支援するため、今春発足した。1万3000円のチケット

3月27日(月)から開始 パスポート手続き変更のお知らせ

市民課戸籍住民担当

旅券法が改正され、3月27日からパスポートの手続きが変わります。パスポートに関する内容は県パスポートセンターへお問い合わせください。

主な変更点

手続き	変更前	変更後
査証欄の追加	査証欄増補申請で40ページ追加	査証欄増補制度を廃止。有効期間が元の旅券と同じ新旅券を発行できる
未交付の旅券の発行手数料	旅券の発行後、申請者が6か月以内に受領せずに旅券を失効した場合	
	手数料なし	失効後5年以内に再度一般旅券を申請した場合、別途手数料を加算
新規申請時の戸籍謄本等提出	戸籍謄本または戸籍抄本	戸籍謄本のみ

問合せ 県パスポートセンター ☎045(222)0022

市民の活動だより

ちがさき市民活動サポートセンター
☎(88)7546

ふるさとファーマーズ



不耕起栽培の畑で初めての農作業

農業や化学肥料を使用しない安全で環境に優しい作物を誰もが食べられる世の中を目指して活動しています。環境や食への理解を深め、生産者と消費者の架け橋となるべく取り組んでいます。

環境や農業のことを自分事に

茅ヶ崎里山公園に隣接した畑で、持続可能な農業・食の観点から、無農薬で堆肥も使用せず、雑草も抜かない不耕起栽培の畑づくりをしています。年齢や障がいの有無などに関わらず、すべての方を受け入れ、種まき、作物管理、収穫などの体験の場を提供し、農業の大切さや環境配慮の必要性を伝えています。土に触れることで心が豊かになり、食や自然環境を身近に感じます。楽しくおいしく、環境にやさしい農作業を一緒にやりませんか。

活動日 水・木・金・土・日曜日いずれも9時～17時

場所 茅ヶ崎里山公園に隣接した畑

問合せ ☒furusatofarmers@gmail.com



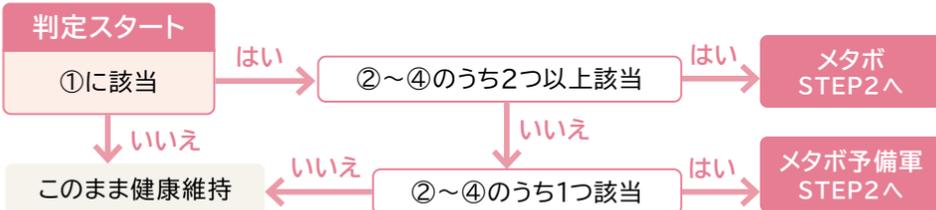
団体☒ 石井 雅俊代表

簡単チェック & 生活習慣の改善 新年から脱メタボを目指そう

保険年金課給付担当

STEP 1 まずはメタボに該当するかチェック

項目	基準値
①腹囲が基準値以上	男性85cm以上、女性90cm以上
②血圧が高め	収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上
③血糖値が高め	空腹時血糖110mg/dL以上
④中性脂肪が高め(または善玉コレステロールが低め)	中性脂肪150mg/dL以上、またはHDLコレステロール40mg/dL未満



STEP 2 生活習慣を見直して、メタボを予防・改善

- ①今の生活習慣を振り返ろう
食生活や運動習慣、睡眠時間、喫煙の有無など
- ②なりたい自分をイメージしよう
ワンサイズダウンした服を着たい、友人に褒められたいなど
- ③できることから少しずつ取り組もう
(食事) ゆっくりかんで腹八分目に 野菜・海藻・きのこ類を毎食摂る
 よりカロリーの高い食品を選ぶ ※7面で「栄養教室」の参加者募集
(運動) 今より10分多く体を動かす 今の歩幅を5～10cm広げて歩く
 筋トレで代謝を上げ、太りにくい体をつくる

特定保健指導通知が届いたら

国民健康保険加入の方には、特定健康診査の結果に応じて対象者に特定保健指導通知を送っています。専門職のサポートでメタボ対策に取り組みましょう。



特定保健指導

広告掲載のお申し込み・お問い合わせは秘書広報課へ

茅ヶ崎駅から徒歩10分
自然光がやさしく差し込む
「癒しの家族葬空間」

2022年 AUTUMN
OPEN
オープン以降
おかげ様で
多くのご家族に
お選びいただ
いております

株式会社 サンライフ
ご葬儀は
ファミリーホール茅ヶ崎
〒253-0045 茅ヶ崎市十間坂3-9-1(国道1号線沿い)

見学・ご相談は随時ご予約承り中

もしもの時・見学ご相談
24時間 365日
よい さい じょう プラン詳細や施設等は
HPでご紹介

ご葬儀・法要
相談センター
0120-41-3140
サンライフ葬儀

介護付有料老人ホーム
アマポーラ湘南
1/14(土)～1/22(日) 9日間
ランチ付(無料)施設見学会開催中

ショートステイ・体験入居随時受付中!
☎0467-87-8965
茅ヶ崎市松が丘2-13-5
http://www.amapola-shonan.jp/

類型 介護付有料老人ホーム(一般型) 介護保険 神奈川県指定介護保険特定施設
 居住の権利形態 建物賃貸借方式 居室区分 全室個室(2人部屋2室あり)
 入居時の要件 自立、要支援、要介護(原則65歳以上) 介護に関わる職員体制 2.5:1以上
 利用料の支払い方式 選択方式

パーム・インターナショナル・テニスアカデミー
アカデミー生募集!!
関東ジュニア・全国大会出場を目指し、更には世界へ挑戦する環境

経験・実績豊富なコーチ陣
オムニコート2面 ハードコート2面(グリーンセット)

無料体験に参加してみませんか? 詳しくはこちら

パーム・インターナショナル・スポーツ・クラブ 小田原支店
〒253-0004 神奈川県茅ヶ崎市甘沼144 0467-50-1155

第1号様式（第7条関係）

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">2022年 1月 日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: right;">所在地</p> <p style="text-align: right;">提出者 一般社団法人 リトルハブホーム</p> <p style="text-align: right;">代表者氏名 代表理事 岩崎愛</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	社会教育の推進を図る事業
事業の名称	ボランティア養成講座～子どもの現状と課題、子どもに対するコミュニケーションを学ぶ連続講座～
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	一般社団法人 リトルラブホーム
連絡先	
設立年月日	2022年 4月 20日
構成員数	3人（うち役員 3人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 2人 その他 1人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（茅ヶ崎市民活動団体ガイドブックに掲載・Facebook Instagram）
設立の経緯	子どもシェルター、児童養護施設、教職での勤務経験を持つスタッフが、児童虐待をはじめ、子どもが育つ環境に関する課題が深刻化していることを痛感。コロナ禍で社会的孤立がさらに深まる中で、貧困、虐待など様々な背景を持つ子どもや家庭が安心して育ち合う場を実現することを目的とし、茅ヶ崎で居場所を提供するべく設立に至った。
活動の目的	様々な背景を持つ子どもたちや家庭が地域の中で安心して育ち合う場を実現することを目的としています。（「様々な背景を持つ子どもたちや家庭」とは、児童養護施設や里親家庭・養子縁組家庭の子ども、ユース（児童養護施設や里親家庭・養子縁組家庭の経験者）、貧困家庭の子どもなど支援を必要とする家庭、社会的に孤立しやすい家庭、登校拒否、引きこもり、障がい児のことをいう。）
主な活動内容	1. 地域の繋がりを促進する交流の場、居場所の提供 2. 児童養護施設や里親家庭・養子縁組家庭の子ども、ユース（児童養護施設や里親家庭・養子縁組家庭の経験者）の居場所の提供及び相談事業、他機関連携 3. 貧困家庭の子どもなど支援を必要とする家庭、社会的に孤立しやすい家庭、登校拒否、引きこもり、発達障害などの障がい児及びその親の居場所の提供及び相談事業、他機関連携 4. 緊急保護、ショートステイなどの宿泊の提供及び子どもサポーター育成の実施 5. 様々な背景を持つ子どもたちの現状を知らせるための勉強会、イベントの企画運営及び開催 7. その他前条の目的を達成するため必要な事業
年間決算額	
補助金の状況	団体名：茅ヶ崎市海岸地区社会福祉協議会 補助金の交付を受けた年度：2022年度 補助金の名称：サロン運営費

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>ボランティア養成講座～子どもの現状と課題、子どもに対するコミュニケーションを学ぶ連続講座～</p> <p>子どもの現状に関心のある地域住民、学生、ボランティアに興味のある方に対して実施することで、地域で課題認識を共有し、スキルを身につける講座を展開する。子どもへの関わり方やコミュニケーションスキル、傾聴講座や子どもの人権に関わる知識、体験型のグループワークを実施。</p> <p>【具体的な実施内容】</p> <p>子どもの現状・児童虐待と社会的養護の課題を学ぶ講座、子どもに対するコミュニケーションスキルを学ぶ連続講座（1ヶ月に2回を年間3回実施）</p> <p>（日程） 4月、8月、11月以降 平日又は土曜 午後2時間程度を予定（2回連続講座×年間3回の実施）</p> <p>（場所） みんなの家（団体活動拠点の一軒家古民家）</p> <p>住所：茅ヶ崎市東海岸南 2-1-15</p> <p>（内容）</p> <p>①子どもの現状・児童虐待と社会的養護に関する課題を学ぶ講座（井上仁さん（元大学講師、社会的養護の現場経験者）、その他）</p> <p>②子どもと対話するコミュニケーション講座（傾聴講座など）</p> <p>（想定講師） 精神保健福祉士、NVC 認定資格者、CAP 講師、元大学講師、社会的養護の現場経験者など</p> <p>（対象） 市内の関心のある方 各回10名まで【事前予約制】</p> <p>（費用） 2回連続講座 500円</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対策】</p> <p>各回、間隔を持った席を配置するとともに、30分ごとに換気を行い、3密を回避します。参加者は事前に把握し、マスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>子育て家庭の貧困や児童虐待など子どもの発育環境をとりまく課題は年々深刻化している。その一方で、子どもと子育て家庭の孤立が深まっている。貧困・引きこもり・子育てのストレスといった困りごとが家庭の中に押し込められ、より一層社会からは見えづらくなっているのではないだろうか。</p> <p>こうした背景のもとに、国の施策では令和4年6月に子どもの権利を包括的に保障する子ども基本法が成立し、令和5年4月より施行される。また、それと同時に、児童福祉法が改正され、これまでの児童相談所を中心とした「なにかが起きてから対処する」支援から、児童等に対する家庭及び養</p>

	<p>コアボランティアとして、当法人の他事業（1.おむすび寺子屋 2.こどもおとな食堂 3.赤ちゃん子育て広場）への流入を図る。また、参加者には賛助会員の紹介、facebook、instagram など SNS のフォローや、メール等での継続的な情報発信を実施することで、R6 以降も課題関心を継続してもらっていただき、イベント等への参加を促す。</p> <p>【長期展望】学ぶ機会やスキルを持った地域住民が増えることで、子どもや家庭が安心して育ち合う場を、地域のいろんな拠点で提供していくことができる。リトルハブホームの拠点である“みんなの家”に限らず、参加された方が地域で活動できる学びとなる機会を提供し、継続的に開催することで、一人ひとりの意識や行動変容となり、街全体が有機的に循環する場を提供していく。時に学びの機会をより多くの方に提供できるよう、動画配信なども検討し、より広く問題提起ができる土壌を整える。</p>
<p>事業の実施体制 について</p>	<p>総括：代表理事 1 人 会計：1 人 広報：（チラシ・パンフレット・SNS 等の運営）理事 2 人、ボランティア 講演者：精神保健福祉士、NVC 認定資格者、CAP 講師、元大学講師、社会的養護の現場経験者など 実施人員：法人理事、ボランティア 広報・実施協力者：松下政経塾など外部機関と連携した広報を実施。 連携先：子ども関係団体、地域自治会、中間支援団体、市担当課</p>

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1 事業収入	15,000	参加者負担費用（資料代） 500円×10人×3回
2 寄附金収入	291	団体への寄付から充当
3 補助金収入	100,000	市民活動推進補助制度
合 計	¥115,291	

支出

科 目	金 額	内 訳
1 賃金（会員外）	12,000	ボランティア謝礼 1回1,000円×2名×2回×年3回
2 謝金	72,000	講師謝礼 1回12,000円×1名×2回×年3回
3 物品費	13,256	ホワイトボードシート（150cm×90cm）5860円 ホワイトボードマーカー（4色レーザー付き）698円 画用紙水性マーカー（8色セット）823円 フェイスシールド10個セット 2465円 除菌シート110円×6 A4バインダー1320円（110円×12個）文房具類 1430円（養生テープ2つ、ラミネート、クリップ、ホチキス、筆記用具セット など）
4 印刷製本費	14,285	講座資料印刷代（A4コピー用紙（500枚1束）550円）、イン ク代（2,365円）A4配布用チラシ 1000部 3,790円×3回分
5 保険料	3,750	NPO活動総合保険
合 計	¥115,291	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年1月10日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長 様</p> <p style="text-align: right;">所在地 提出者 名称 茅ヶ崎純水館研究会 代表者氏名 会長 日下部雅彦</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(2) 社会教育の推進を図る事業 (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業
事業の名称	純水館文化を茅ヶ崎市民に発信 ～茅ヶ崎って素晴らしい！～
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	茅ヶ崎純水館研究会
連絡先	
設立年月日	2022年1月16日
構成員数	30人（うち役員6人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 29人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（茅ヶ崎市民活動団体ガイドブックに掲載）
設立の経緯	<p>一昨年10月に茅ヶ崎市民文化会館で「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館友の会」主催の純水館に関する講演会があり、大勢の市民の皆さんが集まりました。講師は、本研究会設立前の現事務局長が担当しました。この講演会で、地域の歴史に興味を持っている方、特に歴史に埋もれてしまった純水館について知りたい方々が沢山いることを知りました。この講演会をきっかけに、純水館に特化した研究会を立ち上げ、研究会主催の講座、講演会を行なえるように組織化をしました。現在は会員30名で活動をしています。茅ヶ崎市民に広く私たちの活動を知っていただくためには広報活動が必須です。茅ヶ崎市教育委員会社会教育課、南湖公民館と連携して活動することになりました。</p>
活動の目的	<p>会則 第3条（目的）</p> <p>本会は、「純水館茅ヶ崎製糸所」に関する学習、発信、記録、保存を通して、会員および茅ヶ崎市民に地域を愛する心（「郷土愛」）を醸成することを目的とする。</p>
主な活動内容	<p>会則 第4条（活動）</p> <p>本会は、前条の目的を達成するために次の活動を行う。</p> <p>(1) 「純水館茅ヶ崎製糸所」に関する学習会の開催 (2) 茅ヶ崎市民を対象とした「純水館茅ヶ崎製糸所」に関する講演会の開催 (3) 「純水館茅ヶ崎製糸所」に関する記録の公共施設への寄贈 (4) 会員相互の親睦</p>
年間決算額	－ 円
補助金の状況	なし

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する口にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>研究集録の発行 「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座の記録、研究会活動の記録、純水館に関する調査・研究の成果を冊子としてまとめ、令和6年3月に発行する。</p> <p>研究集録の特長 ①「純水館文化」研究の最新成果を収めた冊子 関係者聞き取り調査、研究者の講演録、研究論文、研究資料等 ②未公開実物資料の掲載（所有者の了解済み） ③小山敬三画伯絵画の掲載（所有者、著作権者の了解済み） ④純水館研究の入門書、専門書としての冊子 入門書：カラーの写真、資料、絵画を解説付きで掲載して興味・関心を高める工夫をする。 専門書：聞き取り調査、論文、参考文献等の資料掲載により、更に研究を進めたい方への足掛かりとなるようにする。 ⑤冊子の表紙、裏表紙のイラストを森上義孝氏（画家、純水館研究会員）が担当する。</p> <p>研究集録の内容構成 第1部（カラー版） 資料写真、関係写真、小山敬三画伯未公開、公開絵画等 第2部（白黒・資料編） 聞き取り調査、「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座の記録、研究論文、小山房全（純水館館長）親族系図、小山房全関係者解説、純水館関連年表、純水館研究参考文献一覧、純水館研究会の活動記録等 第3部（カラー版） タウンニュース連載コラム（タウンニュース社から了解済み） 実際の記事よりも拡大して読みやすくする。</p> <p>研究集録は市内の図書館、公民館、博物館、美術館、茅ヶ崎ゆかりの人物館等の公共施設と近隣市町の図書館、長野県小諸市の小山敬三美術館、図書館等に寄贈する。また、純水館関係者、研究協力者、純水館研究会員の他、一般市民へも無料で配付する。一般市民への配付情報は、公共施設でのチラシ配架や講演会でのチラシ配付により、広く一般市民へ周知する。</p> <p>編集会議 編集会議は、随時、ちがさき市民活動サポートセンターで編集委員が行う。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対策】 研究集録の編集会議は、使用する会場のコロナ感染対策に従って活動をし、短時間で会議を終らせます。また、編集委員は体温チェック、マスクの着用に努めます。</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>100年程前、大正6年に茅ヶ崎に純水館茅ヶ崎製糸所が開業しました。製糸所とは生糸を生産する工場です。日本一の品質を誇り、世界屈指の繰糸技術でアメリカへも生糸を輸出していました。純水館は茅ヶ崎町の発展に貢献するだけでなく、様々な社会教育活動を行い、小山房全館長義弟の小山敬三画伯（文化勲章受章者、茅ヶ崎名誉市民）が南湖で絵画の創作活動を行ないました。小山家と島崎藤村との関係も深いです。しかし、昭和12年の廃業とともに純水館は歴史のなかに埋もれ、市民に忘れ去られていきました。素晴らしい「茅ヶ崎の宝物」である純水館および純水館文化を広く茅ヶ</p>

	<p>崎市民に知っていただくために研究会を設立し、活動を始めました。</p> <p>「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座を定期的に開催して茅ヶ崎市民への発信活動を行うとともに、研究集録を作成し、現在および後世の茅ヶ崎市民へも純水館および純水館文化を伝えることにしました。</p>
<p>事業の目的や効果について</p>	<p>本事業の目的は茅ヶ崎市民の皆さんに「郷土愛」を持っていただくことです。「郷土茅ヶ崎に誇りを持ち、より茅ヶ崎を好きになって欲しい」と考えています。茅ヶ崎には、市民が自慢できる素晴らしい宝物（文化）がいくつもあります。その自慢できる、誇りを持てる茅ヶ崎の宝物（文化）に「純水館文化」を加えることができたら良いと思います。</p> <p>私たちの様々な活動と調査・研究成果を研究集録に残すことで、「純水館文化」を現在および後世の茅ヶ崎市民に知っていただくことができます。図書館等の公共施設への研究集録の寄贈により、「純水館文化」に興味を持った市民がより純水館を知る手掛かりになります。研究会員や市民に研究集録を配付することで、入手した人の学びが深まるだけでなく、その人から他の人へ直接「純水館文化」を伝える資料、材料として、発信に広がりを持たせることができます。</p> <p>加えて、純水館研究会員は茅ヶ崎の他の歴史研究団体（「茅ヶ崎郷土会」「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会」「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館友の会」「茅ヶ崎稲門会郷土史同好会」）にも所属している会員が多いです。うち2名は「茅ヶ崎郷土会」「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会」の会長を務めています。茅ヶ崎市史の専門家もいます。これらにより、純水館研究会以外の研究会の場、講演会や学習会の場でも研究集録を題材にさせていただくことで、さらに活用の幅が広がります。</p> <p>研究集録を作成することは、「純水館文化」を形あるものにするということです。冊子にすることで、現在および将来にわたっての発信手段として活用することが可能になります。これが本事業の最大の効果です。</p> <p>そして、「茅ヶ崎って素晴らしい！」（本事業の名称・副題）と考える市民が増えれば、本事業の目的の達成に近づけると考えています。</p>
<p>事業の広報について</p>	<p>（使用予定の媒体にチェック）</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>チラシ・ポスター <input type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物 <input checked="" type="checkbox"/>ホームページ <input type="checkbox"/>Facebook <input checked="" type="checkbox"/>Twitter <input type="checkbox"/>その他のSNS（ ） <input type="checkbox"/>市の広報紙 <input type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input checked="" type="checkbox"/>口頭にて伝達 <input checked="" type="checkbox"/>その他（タウンニュース） </p> <p>ホームページを随時更新して、研究会活動を発信しています。Twitterでも発信活動をしています。研究会が主催する講座や他の団体、茅ヶ崎市からの依頼による講演会では、参加者への直接の呼びかけやチラシ配付等の広報ができます。研究集録の配付を周知するために、チラシを市内公共施設17か所に配架し、講演会でも配付します。研究会活動に関してタウンニュース社さんにご理解、ご協力をいただきコラムを連載していますので、紙面でも発信が可能です。研究集録に関する広報は、これらの媒体を利用します。</p>
<p>今後の展望について</p>	<p>来年3月で活動を一区切りにする規約が承認されています。昨年1月の設立から1年が経過して研究会活動に大きな手応えを感じています。来年度（令和5年度）1年間活動するなかで、令和6年度以降の研究会活動を模索します。研究会主催の講座、講演会以外に、茅ヶ崎市の公共施設や市民団体からも講座や講演会の要請が増えてきました。茅ヶ崎市博物館からも「純水館文化」に関する展示について打診されています。子ども、親子対象の講座や講演会の開催も考えています。これらの活動を純水館研究会の活動として展開します。現在はタウンニュース茅ヶ崎版に純水館コラムを連載し、「純水館文化」を市民へ発信する場をタウンニュース社さんから提供していただいています。出来るだけ長期の連載になるように努めます。今後も、新たに広く発信できる場を見つけていきます。</p> <p>また、「純水館文化」に関する新たな資料の発見・収集に努め、調査・</p>

	<p>研究活動をさらに進めます。この研究成果を踏まえて、最新の「純水館文化」を市民へ発信します。</p> <p>それらを記録、保存することで、現在の茅ヶ崎市民に発信する活動、後世の茅ヶ崎市民に伝える事業を継続します。</p>
事業の実施体制について	

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

茅ヶ崎純水館研究会 研究集録作成事業

収支予算書

収入

科 目		金 額	内 訳
1	団体収入	12,655	「茅ヶ崎純水館研究会」にて負担(会員による年会費より充当)
2	補助金収入	100,000	市民活動推進補助制度
合 計		112,655	

支出

科 目		金 額	内 訳
1	印刷製本費	104,500	1,045円×100冊(税込)
2	通信運搬費	3,700	遠方送付用レターパックライト 370円×10個
3 物 品 費	封筒代	1,540	研究集録、案内文を入れる封筒70枚 1袋5枚入り×14 (税込) 会員分以外に使用
	用紙代	550	配布案内、チラシ用A4コピー用紙 500枚1束 (税込)
	プリンターインク代	2,365	配布案内、チラシ印刷用エプソン純正インク YED-BK (税込)
計		112,655	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

補足資料 「茅ヶ崎純水館研究会」

来年度（令和 5 年度）の活動計画

1 「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座

基本的には、偶数月の第 3 日曜日、南湖公民館で開催する。研究会単独開催の講座と茅ヶ崎市社会教育課（ちがさき丸ごとふるさと発見博物館）、南湖公民館との共催講座がある。

4 月 日 第 8 回「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座

6 月 日 第 9 回「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座

南湖公民館と共催

7 月 23 日 第 10 回「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座

中嶋慶八郎氏（小山敬三画伯ご令孫）講演会 社会教育課と共催

場所 体験学習センター

10 月 日 第 11 回「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座

南湖公民館と共催

12 月 日 第 12 回「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座

社会教育課と共催

場所 体験学習センター

2 月 日 第 13 回「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座

2 要請による講演会や体験講座

4 月 28 日 純水館講演会（主催：茅ヶ崎市立図書館）

要請により随時開催

例：茅ヶ崎稲門会郷土史同好会（市民団体）講演会は半年ごとに開催

3 タウンニュース掲載コラム

「ちがさき純水館物語」として純水館文化を市民に紹介する。ほぼ 2 週間ごとに掲載している。

申請に関する資料

ステップアップ支援 申請書類

- ・市民活動推進補助事業企画書
- ・市民活動団体概要書
- ・事業計画書
- ・収支予算書
- ・物品購入理由書
- ・補足資料

発表時間	事業の名称	提案団体
①13:40	子どもの権利を遊びながら知るコラボ学習会	ふらっと南湖
②14:00	女性防災会議 防災ブレークスルー	マザーアース茅ヶ崎
③14:20	スローコミュニケーションプロジェクト小冊子制作及び音声認識の店舗実証と合理的配慮の市民周知事業	一般社団法人 4Hearts
④14:50	譲渡会:保護犬を知ろう!幸せ家族探し会	湘南1Leben
⑤15:10	①がんサバイバーのためのワークショップとコミュニティ作り	ガーゼ帽子を縫う会

第1号様式（第7条関係）

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5(2023)年1月12日</p> <p>(あて先) 茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: right;">所在地 提出者 名称 ふらっと南湖 代表者氏名 松本素子</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(2) 社会教育の推進を図る事業 (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業 (13) 子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	子どもの権利を遊びながら知るコラボ学習会
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和5年 4月 1日から 令和6年 3月 31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
- (2) 構成員の名簿

市民活動団体概要書

名称	ふらっと南湖
連絡先	
設立年月日	令和2年（2020）年 10月 4日
構成員数	5 人（うち役員 3 人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 3人 その他 2人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 南湖ハウスホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（南湖ハウス Facebook） <input checked="" type="checkbox"/> 南湖ハウスの活動チラシ・通信 <input checked="" type="checkbox"/> 茅ヶ崎市民活動団体ガイドブックに掲載
設立の経緯	代表の松本は実子の子育てをする中で子ども虐待致死事件を知り、家族に相談して2003年里親登録し、一人の男児と季節里親（フレンドホーム）として交流してきました。2010年にある事件をきっかけに「この指ねっと」という里親発信を始め、2020年、義母の遺した土地に「南湖ハウス」を建てることできました。主に社会的養護体験者のスタッフと共に活動を進めています。
活動の目的	「子どもの権利」を基盤にした活動をしています。早稲田大学里親研究会の事務局をしている関係で、毎月社会的養育に関する勉強会を開催し、啓発に取り組んでいます。子どものことは、市、県、国が縦割りを超えて、市民との協働で取り組むべき課題なので、その溝を指摘し、埋めることも目標です。子どもの権利は、ヤングケアラーや保育園や学校の体罰や校則にも関わる身近なことであることを啓発していきたいと思います。
主な活動内容	他団体との協働学習会で楽しく学ぶ勉強会、フレンドホームの啓発児童養護施設と地域との交流イベント
年間決算額	概算 400,000円
補助金の状況	補助金の交付を受けた年度：2021年度、2022年度 補助金の名称：市民活動げんき基金

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>『子どもの権利を遊びながら知るコラボ学習会』</p> <p>A フレンドホームって!?(児童養護施設とのコラボ) ～施設職員さんとフレンドホーム家庭、体験者との話～ (対象) 市民、市議、市の職員、児童委員など・・・無料 (場所) 児童養護施設、勤労市民会館、または南湖ハウス (回数) 年1回 (謝礼) 10,000円</p> <p>B 未来を切りひらくためのロードマップ (IFCA とのコラボ) ～トランジション・ツールキット (IFCA) を使って～ (対象) 中学生、高校生～25歳くらいまでの若者・・・10人 社会的養護の子どもは無料、その他は一人500円(5人を見込む) (場所) 児童養護施設、または南湖ハウス (講師) IFCA からツールキットを作成したユース担当者 (回数) 年1回 (謝礼) 講師一人10,000円×2=20,000円</p> <p>C お金と自分を見つめる勉強会 (湘南学習のススメとのコラボ) (対象) 子ども、若者、大人(誰でも)・・・5人×2回 無料 (場所) 南湖ハウス、コ・ワーキングスペース (講師) 湘南学習のススメ ほか (回数) 年2回 (謝礼) 5,000円×2=10,000円</p> <p>D 子どもの権利って何?(南湖ハウス自主事業) ～「子どものけんり なんでもやねん!すごろく」で遊ぶ～ (対象) 小、中学生～大人・・・無料(大人のみ有料200円) 10人1000円の参加費を見込む (場所) 南湖ハウス、児童養護施設、コ・ワーキングスペース、 公民館等 (講師) 子どもの権利条約関西ネットワーク (回数) 年数回(初回に指導を受ける) (謝礼) 初回5,000円</p>
------------------------	--

	<p>E 性教育で相手(パートナー)を大切にする(Power Love とのコラボ) (対象) 子ども、若者、大人・・・無料(大人のみ有料 500 円) 20 人、10,000 円の参加費を見込む (場所) 勤労市民会館、または南湖ハウス (講師) Power Love 宗藤純子さん (回数) 年 1 回 (謝礼) 30,000 円</p> <p>*感染症対策については、事前の体調チェックや記帳など対策します。</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>2021, 2022 年度の活動は、「子どもの権利」の啓発、発信をしてきました。この理念は変わりませんが、「正論を言うだけでは人はついてこない」こともわかりました。呼びかけに来てもらうことも大事ですが、こちらから出向くこと、一緒に活動することにより、他団体との共通点や方向性の一致をみて、市民活動の更なる発展が見込まれます。今回の 5 つの活動以外にも南湖ハウスでは様々なアイデアを実際に試していきます。</p> <p>フレンドホームを推進する活動は、市内の児童養護施設に出向いて知った施設のニーズとも合致していました。実家のない子どもたちにはアフターケアとして必要です。(詳細は、補足説明を参照)</p>
<p>事業の目的や効果 について</p>	<p>A の事業で、フレンドホーム先を探している児童養護施設の役に立つと同時に、何より子どもたちのアフターケアに役立つ。県や全国の児童養護施設のアドボカシーにつながればいい。</p> <p>B と C の事業は、若者のライフプランを考える内容なので、テキストに添って詰めて考えることは、漠然とした不安を取り除くことにつながる。</p> <p>D と E の事業は、子どもの権利の教育です。日本の性教育は先進国からすれば、30 年以上遅れています。いつまでも負の連鎖が断てないのは、相手の体を知らず、権利を知らないからです。どんどん進めるべきです。</p> <p>また、南湖ハウスだけでなく、コ・ワーキングスペースなどの新たな場所も市内には増え始めているので、そうした場ともコラボして、安心な人間関係の中で知り合い、互いの理解が深まり、市民が楽しみながら地域愛を育てていけると思います。</p> <p>「情けは人のためならず」他人のために行う行為は自分の「徳」を積みみます。子どもに対する徳は、子どもと同様に大きく成長して返ってきます。目に見えませんが、これほど確実なことはないと感じていま</p>

	す。皆さまもぜひ、ご参加ください。
事業の広報 について	(使用予定の媒体にチェック) <input type="checkbox"/> チラシ・ポスター <input type="checkbox"/> パンフレットなどの刊行物 <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> Twitter <input type="checkbox"/> その他のSNS (note,insta) <input type="checkbox"/> 市の広報紙 <input type="checkbox"/> 市の広報掲示板 <input type="checkbox"/> 口頭にて伝達 <input type="checkbox"/> その他 (グループメールなど)
今後の展望 について	A～E 以外のアイデアもたくさんあります。南湖ハウスに来る方は多 種多様なので、その方たちとのコラボイベントを実現していきたいと 思います。出会いが新たな可能性を生み、希望のある社会につながれ ばと思います。
事業の実施体制 について	総括 代表者 1 人 会計 2 人 実施スタッフ 3 人～ (イベントによる)

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1 団体収入	21,780	会費、団体への寄附等、団体資金から充当
2 事業収入	13,500	B 参加費 500円×5人=2500円
		D 参加費 200円×10人=1000円
		E 参加費 500円×20人=10,000円
3 補助金収入	79,000	市民活動げんき基金補助
合 計	¥114,280	

支出

科 目	金 額	内 訳
謝金	75,000	A～Eの事業の合計
旅費	10,000	B スタッフ交通費補助 (1人1,000円×10人分=10,000)
物品費	9,600	★南湖ハウス通信用紙:A4カラー(800円×12月)=9600
印刷製本費	13,000	★通信印刷代(100円×12月)、カラー(5円×200枚)×12月=12,000
使用料	6,680	勤労市民会館B研修室(1670)×2回
合 計	¥114,280	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

[世界と日本社会の現状]

昨年のロシアのウクライナ侵攻以降に世界情勢が大きく変わり、日本の食料自給率、物価高、円安など様々な「安心」が脅かされ、7月の安倍氏狙撃事件後の旧統一教会の養子縁組や親の信教の押しつけは「子どもの権利」を全く無視したものであることが露呈しました。しかしそれは、家庭や一部の宗教に限ったことでなく、教育現場や保育の現場でも起きています。

[R4 年度の子どもの権利啓発活動で見えてきたこと]

昨年度は、南湖ハウスから出て、街中の勤労市民会館を使っての発信活動で、この問題に関心のある方に参加していただきました。社会的養護体験者の話を直接聞いてもらうことで、市民の方々の感性に直接訴えることができたと思います。体験者は「最も子どもの権利を奪われて生きてきた人」ですが、彼らの想いは「自分と同じ想いを次世代の子どもたちにさせたくない」という“未来につながる想い”でもありました。一方、市民も「何か自分にできることはないか」と思っていることがわかりました。

[全体最適と部分最適の現状]

参加者の方からこの問題を客観する「部分最適と全体最適」の視点を学ぶことができました。「全体最適」とは大きなビジョンで例えば「子どもも大人も皆が幸せになる社会」ですが、「部分最適」は、一部の人や団体の都合が優先されることを指します。「職員の仕事の便宜性」と「子どもの意見表明」との調整には葛藤が生じます。大人側の判断によっては、本来の目的（子どもの幸せ）より優先され、子どもが社会に出てから困ることになるのです。

[フレンドホームを増やす啓発活動]

この活動は、2016年から行っていますが、支援する側も無理なく、楽しく続けられるものです。「社会的養護を必要とする子どもたち」の「負の連鎖」の図にも示したように不安定な家庭環境下にある子どもたちには、精神的にも経済的にも安定している家庭のあることさえ知りません。それは、元の家が孤立して他者との交流が無いからです。「安定した家庭」を知ること、自立後に健全な家庭のイメージをもって生きていけるのです。

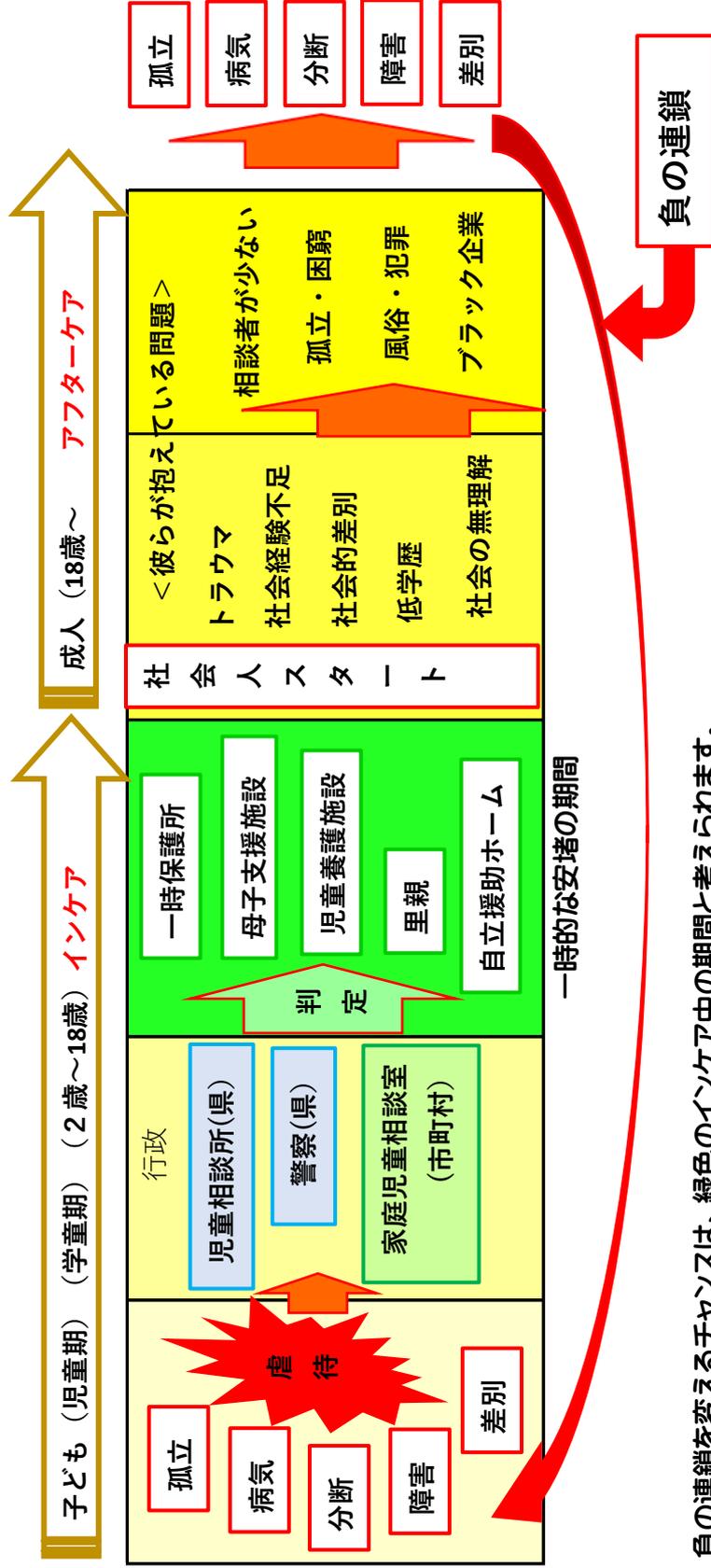
[施設養育の課題と求められていること]

施設の運営は、基本的に子どもの数で決まります。(500万円/年 ×子どもの数)

例) 30人収容の施設では、500万円×30人=15,000万円

詳細は調査をしていただきたいですが、施設運営のためには「かわいそうな子どもが必要」な構造になっていて、家庭養育への転換は経営を圧迫する矛盾をはらんでいます(原資は全て税金)。ほとんどの子どもが幸せになれば問題はありますが、図のような連鎖もあり、十分な調査もされずに問題が放置されています。地域にある施設は、自治会や社協など地域資源と話し合いを重ね、子ども一人一人の人生のパートナーをつくるのが心ある施設の役割だと思います。

“社会的養護を必要とする子どもたち”の「負の連鎖」の図



負の連鎖を変えるチャンスは、緑色のインケア中の期間と考えられます。

2016年の児童福祉法改正、2017年の「新しい社会的養育ビジョン」で、国は明確に「子どもには家庭が必要」という方針を明文化し、永続的な関係性をつくる養子縁組、里親家庭、施設養護の順に(子どもの意見を聴きながら)措置することになりました。現在は、80%が施設依存の社会的養育ですが、それを逆転させるには「時間」と「教育」が必要です。新ビジョンから早5年が過ぎ、子どもの安定と命を守るために、移行期間の方法として「全ての施設に共住する子どもにフレンドホームを！」と提案しています。

フレンドホームはシヨートステイ(ホームステイ)です。子どもの成長だけでなく、関わるすべての人の心が成長します。経済的安定のある公務員をはじめとするあらゆる方にチャレンジしていただきたいと思えます。

第1号様式（第7条関係）

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">2023 年 1月 12日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: center;">所在地 提出者 名称 マザーアース茅ヶ崎 代表者氏名 代表理事 山田秀砂</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	9 地域安全事業 12 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業
事業の名称	女性防災会議 防災ブレークスルー
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	マザーアース茅ヶ崎
連絡先	
設立年月日	2018 年 7月 11 日
構成員数	9（立ち上げ時）人（うち役員 2 人）（マザーアース規約に記載が有るように各人の意志を尊重するエンゲージメント方式です） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者 9 人 その他 サポート人員 随時参加 人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（サポートセンターガイドブック・フェイスブック ）
設立の経緯	地域で活動（自治会・推進協・社協・市民団体広域避難場所を守る会など）をして行く中で「何か足りないよね？」と感じていた女性達が集まり、話し合った結果「愛が足りない」という結論に達しました。人と人との関わり合いの中で互いを思いやり・認めあう・優しく温かい繋がりが、今後向えるであろう自然災害リスクや社会的リスクを乗り切るのに、必要な力なのではないのか？ 私達は「母なる大地のように全てを包み込み愛し繋がる」そんな思いで動いてみよう！ という経緯で「マザーアース茅ヶ崎」は設立されました。
活動の目的	被災者に「悲しみと後悔の中で生きて欲しくない」だから防災・減災に取り組む事の必要性を知って欲しい！ それが目的でした。 マザーアースが最初に取り組んだ「防災ラブアクション」は東日本大震災で74名の児童と11名の教師が亡くなった石巻の大川小学校が切掛けでした、石巻市の大川小学校と茅ヶ崎市の海岸線に有る東海岸小学校・第一中学校が重なったからです。もう一つは、茅ヶ崎市最大の問題である地震災害後の同時多発延焼火災の現状の恐怖を知った事でした。 会場に来ていただけた方々だけでなく少しでも多くの市民に周知自分事と捉えていただけるのかが今でも大きな困難であり目的でも在ります。
主な活動内容	: 茅ヶ崎市で災害が起こったときの各地域の被害状況の周知（HP掲載・イベント開催・まちぢから広報など） : 家庭内での「命を守る減災・防災対策のやり方」周知イベントの開催 : 茅ヶ崎市の災害時危険度マップを作成した東京大学加藤孝明教授をお招きし、自治会・自主防災組織・教育機関代表者・福祉関係・一般など多く方に参加いただき、マザーアース茅ヶ崎「防災ラブアクション」を開催 : 茅ヶ崎市防災対策課と協同で震災後の液状化現象に焦点を当て、子連れ避難時の危険認識と避難について「ベビーバギーサミット」を開催。 避難時に必要な「おぶい紐のやり方」・「液状化とは」・「乳幼児の救急救命」の3項目の講座を開催
年間決算額	0円
補助金の状況	団体名：茅ヶ崎市 補助金の交付を受けた年度：令和4年度 補助金の名称：茅ヶ崎市民活動推進補助金

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する口にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>2023年4月以降 「女性防災会議・防災ブレイクスルー」を実施して 行きたいと考えています。</p> <p>「女性防災会議」とは、働き世代の男性がいない昼間の災害発生を考 え女性達の生活の中から育まれた知恵や繋がりを防災に活かすための 会議であり「心理的安全性」を確保した女性達だけの会議形態です。 女性ならではの視点から「ブレイクスルー」に期待するものです。</p> <p>日程： 年5回 程度 場所： 各地域のコミュニティーセンター 対象： 市民・自主防災組織役員 人数： 1回 3～20名（開催場所の広さによる） 費用： 300円 資料作成 感染症対策： ・地域のコミセン規則に沿う ・独自には名簿の作成・マスクの着用・フェイスシ ールド・アルコール手指消毒など</p> <p>：6月 2023年「女性防災会議・防災ブレイクスルー」 小出地区コミュニティーセンター開催予定 *防災食レシピ 被災時の食卓を明るく お家ご飯の専門家 茅ヶ崎市学びの市民講師 *障害を持つ人の家族が思うことを本音で NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン *被災後の女性の復興力・国の支援・住宅の再建やローンへの支援 特定非営利活動法人日本危機管理士機構 危機管理士2級</p> <p>：8月 「女性防災会議避難所運営は女性が鍵？」 災害関連死とは？ コミュニティーの喪失を防ぐには？ 事前復興の役割 「会議にはアンガーマネジメントが必要」 小出地区コミュニティーセンター開催予定</p> <p>：10月 2023年「女性防災会議・防災ブレイクスルー」 柳島コミュニティーセンター開催予定 *防災食レシピ 被災時の食卓を明るく お家ご飯の専門家 茅ヶ崎市学びの市民講師 *障害を持つ人の家族が思うことを本音で NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン *被災後の女性の復興力・国の支援・住宅の再建やローンへの支援 特定非営利活動法人日本危機管理士機構 危機管理士2級 「心理的安全性とは？」社会を変える力を持つ？</p> <p>：12月 「女性防災会議避難所運営は女性が鍵？」 災害関連死とは？ コミュニティーの喪失を防ぐには？ 事前復興の役割 「会議にはアンガーマネジメントが必要」 柳島コミュニティーセンター開催予定</p> <p>：2月 2024年「女性防災会議・防災ブレイクスルー」 海岸コミュニティーセンター開催予定 *防災食レシピ 被災時の食卓を明るく お家ご飯の専門家 茅ヶ崎市学びの市民講師 *障害を持つ人の家族が思うことを本音で NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン *被災後の女性の復興力・国の支援・住宅の再建やローンへの支援 特定非営利活動法人日本危機管理士機構 危機管理士2級 「心理的安全性とは？」社会を変える力を持つ？</p>
------------------------	--

	<p>今期事業について前期事業で得た確信と共に反省点が多々ありました。</p> <p>1 <毎月は無理 今回は1ヶ月おきに予定 : 市広報が無料で広報力があるのですが毎月は無理 : チラシ・パンフレットを作成するのに追われてしまう : 市内の異なる場所での開催を望んでも予約がとりにくい</p> <p>2 <毎月同じ日を予約 曜日で決めることに : 毎月15日といっても曜日が毎月変わる、お稽古ごとや他のイベントが重なる : 曜日が重要だとわかる</p>
<p>事業の背景について</p>	<p>茅ヶ崎市においては「方向性を決める場」に女性が参加出来ていないというのが現実であり、それは女性の心理的安全性が確保されにくいと言う事でもあります。</p> <p>女性達は社会生活の中・性差別・家庭生活の中にある思い込みの怒りなどで、思っている意見が言えない場面が多いと感じています。</p> <p>国の男女共同参画では女性の視点での防災活動を推奨しており、令和4年度の2回の女性防災会議（1回は海岸地区まちぢから協議会で地域限定、もう1回はマザーアース茅ヶ崎主催で市民対象での実施の手応えからも今必要とされていると確信に至りました。</p> <p>令和4年度の体験から「アンガーマネジメント」と「心理的安全性の確保」は車の両輪のようであり「必要の無い不安や恐れを持たず安心して進んで欲しい」という私達の思いはすべての事柄の基本であり、今後も新事業の内容に織り込んで活用していく考えです。</p> <p>自然災害や人為的災害すべては「弱い所により多くの苦しみ」が来るのが現状です。</p>
<p>事業の目的や効果について</p>	<p>「女性防災会議」とした目的はこのように普通に強いられている枠を外した「心理的安全性の確保された場」でなら発揮出来る自身のポテンシャルに気付いて欲しいと考えたからです。</p> <p>海岸地区防災安全部会主催で第1回「女性防災会議」開催の承認がやっとおり、第1回目を開催、驚くほど盛り上がりを見せました。</p> <p>こんなに沢山の意見と革新的アイデアが出るという事に驚きと同時に「女性達の力が活かされていない」と強く感じたのですがその後の、海岸地区合同防災訓練で茅ヶ崎市初めての「避難所開設・運営実地訓練」が行われた時の女性達の活躍はめざましいものでした。</p> <p>たった1度の女性防災会議で自分の考えを発表出来た事は「完全に自分事にした」ということです。これこそが地域防災力UPに直結すると考えています。</p> <p>第2回目の防災ブレークスルーでは3名のパネリストが各人の専門性を活かした内容で自由に構成し質問を受けました。</p> <p>「子供を持つ若いママへ防災食を楽しく」「障害児を家族にもつ母の本音トーク」「被災後の国からの支援や必要な手続きを平時に知っておこう」など20代の防災士さんから80代の方まで全世代が、闊達にお話されている様子は頼もしい限りでした。</p>
<p>事業の広報について</p>	<p>(使用予定の媒体にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>チラシ・ポスター <input checked="" type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物 <input checked="" type="checkbox"/>ホームページ <input checked="" type="checkbox"/>Facebook <input type="checkbox"/>Twitter <input type="checkbox"/>その他のSNS () <input checked="" type="checkbox"/>市の広報紙 <input checked="" type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input type="checkbox"/>頭にて伝達 <input checked="" type="checkbox"/>その他(まちぢから協議会回覧板)</p> <p>紙媒体を中心に周知することを考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシやポスターの配架を考えているのは、公民館(5館×20部ずつ)、コミュニティセンター(11館×10部ずつ)、ちがさき市民活動サポートセンター(50部)です。 ・チラシは市の広報掲示板にも掲載を依頼します(146箇所)。

	<p>・市広報紙への掲載を依頼します。継続参加の意志がある方のうち、希望される方には、ダイレクトメールを送って継続を促します。</p>
<p>今後の展望 について</p>	<p>この試みが事業として続けられるのであれば、入り口は防災でも「心理的安全性確保」の有効性・「多様性の受け入れ（アンガーマネジメント）」・「女性のポテンシャルの開花」など、人びとが社会的に大きな意味と広い面でつながっていけると感じております。</p> <p>物事の全ては繋がっていて「一元的・一方的な見方や考え方だけでは、真実は見えてこない、広い視野と大きな心で多くの人に関われれば「防災・福祉」その他にも良い連鎖がおこるのではないかと期待を持ち、この事業の意味が次世代にも理解され、つながって行くようにステップアップして行きたいと考えております。</p> <p>重要になるのが開催告知と内容のお知らせだと考えています。</p> <p>実施後のビデオを編集し公開し宣伝に使えたらとも考えています。</p>
<p>事業の実施体制 について</p>	<p>総括代表者 マザーアース茅ヶ崎 会計 1名 広報 チラシ・パンフレット作成・配布 4名 講師・プレゼンター 3名（茅ヶ崎市市民講師届済み） ：特定非営利活動法人 日本管理士機構 自然災害 危機管理士2級認定 No 210927 ：茅ヶ崎市学びの市民講師 お家ご飯専門家 ：NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン</p> <p>【協力者】 今後も取り上げる内容により、茅ヶ崎市市民講師の方々にも講演協力いただき地域に根付いた地域住民中心のイベントにしたいと考えています。</p>

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
会費収入	36,000 円	参加者1回30名×5回開催予定=150名 150名×300円=45,000円
マザーアース茅ヶ崎支出 補助金	4,700 円 93,000 円	げんき基金補助
合計	133,700 円	

支出

科 目	金 額	内 訳
① 謝金	20,000 円（税込み）	講師 謝礼5,000×2名×3回
② 旅費	駐車料金 6,000 円	1,200円×5講演×1名=6,000円
③ 物品費	1講演 1,000×5=5,000円 36,800 円	名札・セロテープ・ポストイット・半紙 ポータブルスピーカーセット マイク
④ 資料印刷費	24,100 円 ★41,800 円	ポスター2,000枚（ネット印刷） 4,820円×5講演=12,200円 （各開催地域へのポステイング） ：小出地区コミセン：柳島コミセン ：コミュニティーセンター湘南予定 ★団体PRパンフレット（ネット印刷） B5仕上がり 8P4つ折りカラー
合計	133,700 円	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

- 備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。
- 備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

物品購入理由書

1	物品名	見積金額	使用頻度
	ワイヤレスマイク・スピーカーセット アンプ内蔵会議イベント対応本体	¥36,800 (税込み)	最低でも2ヶ月に1～2回
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	市のイベントを開催出来る施設（うみかぜ学習センター・男女共同参画推進センター・コミュニティセンターには各1のセットしかなく、定期的に使用している団体がいると日程調整が出来ず借りられないことがほとんど。他の施設から借りてきて持ち込むのは大変。コロナ禍でマスク着用が必須である現在、講師の声が明確に聞き取れないのでマイクを使用してくださいとの希望が多数寄せられていますし自分が講演を聞きに行ったときなど実感しました。		: 団体に保有 : 継続的に使用
2	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
3	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年 1月12日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: right;">所在地 提出者 名称 一般社団法人4Hearts 代表者氏名 那須 かおり</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(1) 保健、医療又は福祉の増進を図る事業 (3) まちづくりの推進を図る事業 (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業 (12) 男女共同参画社会の形成促進を図る事業
事業の名称	スローコミュニケーションプロジェクト小冊子制作及び音声認識の店舗実証と合理的配慮の市民周知事業
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和5年 4月 1日から 令和6年 3月 31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	一般社団法人4Hearts
連絡先	
設立年月日	令和 2年 5月 25日
構成員数	4人(うち役員 4人)
	市内在住(在勤及び在学を含む。)者 2人 その他 2人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法(SNS(Facebook, Instagram, YouTube 等))
設立の経緯	聴覚障害者のための人権や障害福祉については、運動のお陰で少しずつ認められてきています。反面、障害の陰に隠れ心理面がおざなりになってしまったことで、職場定着率が低いなどさまざまな影響が出ています。 肩に力を入れることのないコミュニケーションで、ふと気持ちを吐露できる場所を作りたいと思い、4Hearts の活動が始まりました。
活動の目的	情報コミュニケーションから誰ひとり取り残さない。 現在3期目となりますが、4Hearts として活動をする中でありがたいことに多くの人や企業を巻き込むことができています。 しかし、障害者として生きてきたことによる、社会への負い目や迷惑をかけまいという心理が働き、埋もれるようにして生きる人の方が圧倒的に多いです。それによって、社会も存在を認知できず理解が遅れてしまっているのが現状です。 情報コミュニケーションバリアを感じている多様な人々が、勇気を持って一歩踏み出せる社会にするために活動しています。
主な活動内容	・ロールモデル提供のためのポータルサイト(マガジン) ・聴覚障害体験をベースとしたワークショップ開発 ・情報コミュニケーション支援ツール開発企業の代理店営業 ・神奈川大学との音声認識機器の設置実証
年間決算額	1,644,000 円

補助金の状況	<p>団体名:茅ヶ崎市民活動推進補助金 補助金の交付を受けた年度: 令和2・3・4年度 補助金の名称:市民活動げんき基金 R2 スタート支援 R3・4 ステップアップ支援</p> <p>団体名:公益財団法人 キリン福祉財団 補助金の交付を受けた年度:令和3年度 補助金の名称:きりん・地域の力応援事業</p> <p>団体名:公益財団法人かながわ生き生き市民基金 補助金の交付を受けた年度:令和3年度 補助金の名称:かながわ生き生き市民基金 第16期福祉たすけあい基金</p> <p>団体名:公益財団法人さわやか福祉財団 補助金の交付を受けた年度:令和4年度 補助金の名称:地域助け合い基金</p>
--------	---

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する口にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

<p>実施する事業 について</p>	<p>①小冊子制作事業 ・スローコミュニケーションプロジェクトを伝えるための小冊子第二弾。22年度の活動報告と23年度の活動、今後の展望をまとめる。 <対象> 茅ヶ崎市民、ワークショップ参加者、小中学校出張授業、外部ステークホルダーなど <冊数> 約 3000 冊 <編集会議> (Cの辺り利用予定):4回×5人 <掲載予定内容> 情報コミュニケーションバリアを感じている盲ろう者2名へのインタビュー。盲ろう者という人達がいることの周知、盲ろう者のコミュニケーション方法や、社会参画について、スローコミュニケーションプロジェクトの観点からインタビューする。 ※インタビューの際には動画も併せて撮影し、マガジン(みみところのポータルサイト)に掲載する。 <インタビュー会場> 横浜:県民サポートセンター利用予定 ※盲ろう者通訳・介助員は盲ろう者1名につき2名 会場でのインタビュー時の通訳だけでなく、盲ろう者の自宅から会場への往復の時間も含まれます。(1人での外出は困難なため) 社会福祉法人神奈川聴覚障害者総合福祉協会の派遣費を元に算出。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対策】 3密を回避。参加者は事前に把握し、マスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。相手の手話を触りながら理解する触手話での会話が発生する場合があります、感染症対策には十分に配慮。</p> <p>②ワークショップ等の音声認識による情報保障 ・ワークショップ等の音声認識による情報保障 まちスポ茅ヶ崎で月1回聴覚障害体験ワークショップを実施。サポートスタッフや参加者に難聴者が毎回いるため情報保障として音声認識を表示させる。 ・音声認識を活用した接客の店舗実証 接客現場に応じてモバイル型か据え置き型(字幕透明パネル等)かでも違ってくるため、タブレットを用意する。 ※音声認識ソフトが WindowsOS で動作するため対応タブレットにする。</p> <p>③合理的配慮の民間義務化についての市民周知事業 24年に施行される障害者差別解消法の合理的配慮の民間義務化については、まだ世間にほとんど知られていない。そのため、茅ヶ崎市民や市内企業・店舗等へパネル展示や相談会などで周知活動を実施する。昨年に引き続き茅ヶ崎市役所市民ふれあい広場や商業施設での、経営者・難聴者向け相談会の実施などを考案中。 →茅ヶ崎市役所、大型商業施設などで年に3~4回実施予定。</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>活動内容の発信 22年9月に茅ヶ崎市と共催で『こころで聴く図書館 失われた魔法書を探せ!』イベントを実施した。 みえない・きこえない・はなせない、それぞれの体験をしつつ、3人1チームで協力しあって魔法書を探す。体験を通して気づきを得た後、誰にでも使いやすい図書館にするためのアイデアソンを実施するという内容。 イベントレポートをHPに掲載後「うちでも出来ないか」「〇〇図書館でも</p>

やって欲しい」などの反響を全国から頂いている。

22年8月から10月には、神奈川大学と商業施設で音声認識機器の設置実証をした。また、茅ヶ崎市役所市民ふれあいプラザにて、展示・相談会を障がい福祉課と共催で実施した。

現在は、認定NPO法人サービスグラントによるNTTドコモグループ社員のプロボノ支援で、BtoC企業のマーケティングリサーチ。それらアンケートやデータが集まっており、接客シーンにおける情報アクセシビリティ、情報コミュニケーション支援についてのコンサルティングに繋がりたいと考えている。

コミュニケーション支援ソフトについては、昨年末に株式会社リコーと代理店契約を締結。今後もコミュニケーション支援ツール開発企業とのパートナー契約やスポンサーシップを得ていく予定。

こういった多岐にわたる活動をわかりやすく伝えるために、小冊子第二弾を発行し、どんな世界を目指しているのかを明確に伝えていく必要がある。

また、小学校への出張授業をする機会も少しずつ増えてきたことから、子どもたちにも手に取ってもらいたいと考えている。

24年に施行される障害者差別解消法の合理的配慮の1つとして、情報コミュニケーションバリア解消の意味でも、実際にそれぞれの接客現場に応じたコミュニケーション支援ツールの選択肢があることも、市民に周知させていく必要がある。年に3～4回市内で啓発していきたい。

昨年は相談会を11/10にBRANCH 茅ヶ崎で、10/11、11/16～18に茅ヶ崎市と共催で茅ヶ崎市役所1階市民ふれあいプラザで実施した。

情報コミュニケーションバリアから誰ひとり取り残さない

特に、単一障害に目を向けられがちだが、視覚からも聴覚からも情報が得られない、盲ろう者についても目を向けてほしいとの要望が関係者からあった。そのため、スローコミュニケーションプロジェクトの観点からインタビューを実施する。

また、海外経験をされた方は言語的マイノリティ環境を体験し、その時の感情を肌で感じているため、当事者が負い目を感じたり遠慮して微笑んで誤魔化したりする気持ちに想像が及ぶ傾向がある。

しかし、多くの日本人は言語的マイノリティ環境に置かれたことがないため、情報コミュニケーションバリアについて一步想像することが難しい。聴覚障害だけでなく、視覚や発達、高齢者や子ども、他言語話者など実に多くの人が感じているということを日常からあまり意識していない。

また、聴覚障害は「簡単に体験できない障害」だと言われている。そこで私たちは、プロのサウンドデザイナーにノイズを制作してもらい、ヘッドフォンでの擬似体験を実施している。

「体験しないと分からない」「とても孤独を感じた」など、その時の感情にフォーカスすることで「気づきスイッチ」を入れている。ヘッドフォンを外せば元の世界に戻れるが、相手の事情を想像するスイッチは入っているので、見える世界が変わる。

そういった様々なことを啓発していくためにも、小冊子のようにまとまっているものを市民に配布することは有効である。

<p>事業の目的や効果について</p>	<p>社会全体の課題発見力の向上 情報コミュニケーションにバリアがあるということは、人と人の心の繋がりに障壁があるということであり、スローコミュニケーションプロジェクトは、まちの心のバリアフリーに繋がる。</p> <p>心の繋がった丁寧なコミュニケーションを取るということは、とどのつまり、段差やトイレといった物理バリアにも普段から市民の想像が及ぶようになるということであり、社会全体の課題発見力の向上に繋がっていく。</p> <p>活動を開始して 3 期目に当たるが、今までは草の根的な啓発活動を、さまざまな形で実施してきた。それらが少しずつ形になり始めており、スローコミュニケーションプロジェクトを茅ヶ崎発で全国に広めていくためにも、発信・ワークショップの部分に今回は力を入れていく。</p> <p>接客現場に応じた情報アクセシビリティ・情報コミュニケーションバリア対策は、合理的配慮に沿ったものとしてサービス提供側の価値向上に繋がる上、当事者たちにとっても一歩踏み出しやすいまちづくりとなる。</p>
<p>事業の広報について</p>	<p>(使用予定の媒体にチェック) <input type="checkbox"/>チラシ・ポスター <input checked="" type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物 <input checked="" type="checkbox"/>ホームページ <input checked="" type="checkbox"/>Facebook <input type="checkbox"/>Twitter <input checked="" type="checkbox"/>その他のSNS (Instagram) <input type="checkbox"/>市の広報紙 <input type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input type="checkbox"/>口頭にて伝達 <input checked="" type="checkbox"/>その他(市内公共施設等への配架、飲食店・店舗に置いてもらう、賛同企業・団体・法人個人パートナーへの配布等)</p> <p>スローコミュニケーションプロジェクト (https://slowcommunication.jp/)で情報コミュニケーションバリア対策の、良好事例のキュレーションとして発信。 みみとこころのポータルサイト(https://4hearts.net/)</p>
<p>今後の展望について</p>	<p>23 年度も「こころで聴く〇〇」を実施できれば、まちを変えるイベントとして、より発信力・認知度が高まっていき、問い合わせもさらに増えていくと考えている。</p> <p>最近では個人パートナーに、ワークショップスタッフや事務作業など活動を手伝って頂いている。</p> <p>イベントを実施し、Web サイトや小冊子で広く伝えるという循環で認知を上げることで、さらに 4Hearts の個人・企業パートナーを増やしていく。</p> <p>23 年度は「パートナーやアライ(理解者)がいかにスローコミュニケーションを周りの人に伝えていくか」がテーマ。 それをもとに、24 年度以降はより伝え方を向上させていく。</p> <p>さらに、「こころで聴く〇〇」を企業(幹部)研修にアップグレードすることで、企業(のトップダウンからの)サービス改善と、情報コミュニケーションバリアに取り組むことが企業 CSR になるような世界観を構築していく。それによって企業スポンサーを得て、スローコミュニケーションプロジェクトのショールームとなる Baseplace を置く。</p>
<p>事業の実施体制について</p>	<p>4Hearts 4 名 NPO 法人湘南スタイル:統括 株式会社ボンド:パンフレットデザイン ライター:2 名 スチールカメラマン:1 名 動画作成カメラマン:1 名 盲ろう者通訳(派遣):4 名</p>

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1. 団体収入	336,450	団体活動費にて充当
2. 補助金収入	500,000	市民活動推進補助制度
合 計	¥836,450	

支出

科 目	金 額	内 訳
委託費	495,000	小冊子制作委託費 NPO法人湘南スタイル 440,000円 動画制作委託費(株)メディア・ケイフォルム 55,000円
謝金	68,000	取材:盲ろう者3,000円×2人 6,000円 盲ろう通訳者15,500円(4時間)×4人 62,000円 (盲ろう者1人に介助員2人自宅から会場までの移動時間も含む)
旅費	5,100	取材交通費:茅ヶ崎-横浜(510円×往復×5人) 5,100円
物品費	93,460	タブレット 94,360円
印刷製本費	70,000	小冊子印刷製本 3000部 70,000円
	63,000	A1パネル印刷 6枚 45,000円 (A1パネルアルミフレーム加工 1部×6パターン) イーゼル 3000円×6=18,000円
使用料・賃借料	41,890	Cの辺り:会議利用(2000円×5人×4回) 40,000円 神奈川県民サポートセンター 630円×3時間 1,890円
合 計	¥836,450	

* 物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

物品購入理由書

1	物品名	見積金額	使用頻度
	マイクロソフト Surface Pro X MJX-00011	93,460円	随時（緊急・高）
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	音声認識ソフトを起動するため、WindowsOSのタブレットが必須。 手話がわからない聴覚障害者などへの情報保障として使用する。従来は要約筆記（常時4名派遣・4000円/1h/1人）。		障害者差別解消法の合理的配慮に遵守するため、引き続き音声認識による情報保障として使用していく。
2	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
3	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
4	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年 1月11日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: center;">所在地 提出者 名称 湘南1 Leben 代表者氏名 古知屋 友里 ⑩</p> <p>次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。</p>			
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり		
事業の区分	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る事業 ⑫ 社会教育の推進を図る事業 (3) まちづくりの推進を図る事業 (4) 観光の振興を図る活動 (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 (7) 環境の保全を図る事業 (8) 災害救援事業 (9) 地域安全事業 (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業 (11) 国際協力を行う事業 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業 ⑬ 子どもの健全育成を図る事業 (14) 情報化社会の発展を図る事業 (15) 科学技術の振興を図る事業 (16) 経済活動の活性化を図る事業 (17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援を行う事業 (18) 消費者の保護を図る事業 (19) 市民活動団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事業 (20) その他地域社会の課題の解決を図るために実施する事業 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る事業 ⑫ 社会教育の推進を図る事業 (3) まちづくりの推進を図る事業 (4) 観光の振興を図る活動 (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 (7) 環境の保全を図る事業 (8) 災害救援事業 (9) 地域安全事業 (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業 (11) 国際協力を行う事業 	<ul style="list-style-type: none"> (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業 ⑬ 子どもの健全育成を図る事業 (14) 情報化社会の発展を図る事業 (15) 科学技術の振興を図る事業 (16) 経済活動の活性化を図る事業 (17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援を行う事業 (18) 消費者の保護を図る事業 (19) 市民活動団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事業 (20) その他地域社会の課題の解決を図るために実施する事業
<ul style="list-style-type: none"> (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る事業 ⑫ 社会教育の推進を図る事業 (3) まちづくりの推進を図る事業 (4) 観光の振興を図る活動 (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 (7) 環境の保全を図る事業 (8) 災害救援事業 (9) 地域安全事業 (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業 (11) 国際協力を行う事業 	<ul style="list-style-type: none"> (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業 ⑬ 子どもの健全育成を図る事業 (14) 情報化社会の発展を図る事業 (15) 科学技術の振興を図る事業 (16) 経済活動の活性化を図る事業 (17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援を行う事業 (18) 消費者の保護を図る事業 (19) 市民活動団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事業 (20) その他地域社会の課題の解決を図るために実施する事業 		
事業の名称	譲渡会：保護犬を知ろう!幸せ家族探し会		
事業の概要	別添事業計画書のとおり		
実施予定期間	令和5年 4月 1日から 令和6年 3月31日まで		
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり		

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	湘南 1 Leben
連絡先	
設立年月日	2019年 3月 1日
構成員数	26人（うち役員 3人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 15人 その他 11人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（Twitter、Instagram、Facebook）
設立の経緯	代表は、自身が購入した犬の障害をきっかけに生体販売、愛玩動物の取り扱いに疑問を抱き、他動物愛護団体を設立し、共同運営を開始した。その後2019年には当団体を設立し、自宅で殺処分寸前の犬の保護・受け入れを始めた。保護犬の活動を通して地元茅ヶ崎の皆さんへの動物の命に関する啓蒙活動、犬の幸せを願う里親探し活動を行うための地域貢献を開始した。
活動の目的	保護犬の保護 里親探し（譲渡会） 保護施設の運営また動物愛護の為の啓もう活動
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖犬、多頭崩壊現場より保護した犬、飼い主が飼育困難になった犬などの全国の殺処分対象となった犬の保護 ・保健所との連携による情報共有 ・保護犬猫譲渡会イベントの参加 ・保護犬譲渡会の開催
年間決算額	3,870,714円
補助金の状況	団体名： 補助金の交付を受けた年度： 補助金の名称：

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>譲渡会：当施設で保護している犬（約25匹、年間40匹）の一生の家族を見つけるとともに犬の啓蒙活動を行う事業</p> <p>啓蒙事業とはペット産業の現状等を来場者の皆様に知ってもらうこと、またそれによる二次被害の抑制を指しています。</p> <p>茅ヶ崎の各場所で譲渡会・啓蒙活動を行います。譲渡会を行い、当団体が保護している犬を実際に見ていただくことで、里親になりたい方にとって不安感なく犬を家族に迎えて頂くことができます。</p> <p>また、当団体が保護している犬のいるその場所で啓蒙活動を行うことでより現実的かつ理解しやすい環境を作っています。</p> <p>（日程）各月第3又は第4日曜日+3回（年間9回）</p> <p>（場所）茅ヶ崎ペットフォレスト・中央公園・湘南ドッグパーク ドッグウィル</p> <p>（対象）神奈川県近郊の方 保護犬について興味がある方</p> <p>（費用）しつけ教室講師代 各月2万円（年間6回）</p> <p>【収支予算書の物品購入理由】</p> <p>・タープテント・テーブル 今まで使用していたもの(各3つ)は知人や他の団体、サポートセンターから借りていたものであったため、当団体専用のタープテント・テーブルを購入したいと考えています。それによって今後は当団体のみで譲渡会を運営し、継続的に安定して行うことができる運営体制を目指します。</p> <p>・サークル ここ約半年、当団体が保護している犬のうち数匹が①跳躍力がある②興奮しやすい③他の犬、人に反応してしまう等の特徴があります。そのため、より頑丈かつ高さがあるサークルを購入し、譲渡会及び譲渡会に参加するすべての方々を安全性を高めます。</p> <p>・ハーネスとスリップライド 老朽化による危険性を少しでも減らすために購入します。これらは普段にも使っているものですが、今まで散歩中のみならず譲渡会中にも切れてしまった経験があります。十分な資金がなかったことから破損ぎりぎりまで使用してしまい、このような危険な状態を作りましたが、新しく20個購入することで安全性に少しでも不安を感じる事があれば新しいものと交換することで安全性を高めます。</p> <p>・収納ボックス 今までは段ボールや形のバラバラな収納ボックスに入れていたため、当団体のイベント車に入る物品(サークルやテント、啓蒙パネル等)に制限がありましたが、収納ボックスを統一化することで譲渡会へ持参する物品を増やし、イベントの充実を図ります。</p> <p>・アルミスタンド 啓蒙活動・団体の名称を記載するための看板としてこれまでに加えて使用します。</p> <p>・ラミネートフィルム 啓蒙活動のポスター、譲渡会の注意点や守っていただきたいことなどの書類を保護するために使用します。</p>
------------------------	---

	<p>・おやつ 普段与えているおやつを、非日常である譲渡会でも変わらず与えることで、犬にとってストレスのない環境を作ります。 また、他の犬・人への威嚇、興奮状態等が起こった時におやつを使うことでより迅速に犬を鎮めるために活用します。</p> <p>・印刷製本費 今までパンフレットやチラシをモノクロで簡易的に印刷していましたが、カラーにすることでより皆様の目に留まるようにします。 印刷したチラシ・パンフレットは下記事業の広報の欄に加えて、譲渡会、イベント、里親希望の方にも配布します。</p> <p>・狂犬病ワクチン ワクチンを打つことで狂犬病にかかる犬、その犬に咬まれて亡くなる方がいないよう、1年に1回の接種することで予防します。国で義務が定められているため接種しないと譲渡会に出すことができません。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対策】 予約者を優先にした入場制限を行い、混雑緩和と三密防止を図ります。予約者以外の方には整理券を配布し、状況を把握しながら犬の元へと案内しています。 スタッフ、来場者ともマスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>日本ではまだまだ犬猫が殺処分をされています。 令和2年度の全国の保護センターでの犬の引き取り数は27,635頭に及び、うち殺処分数は4,059頭、返還・譲渡数は24,199頭となっています。</p> <p>保護センターに入る犬は野犬だけではありません。引き取り数が2万頭以上にもなる理由として、ペットとして飼われていたにも関わらず、飼い主の無責任な事情（高齢、病気、アレルギー、想像と違っていた）などの理由で保護センターに持ち込まれ、殺処分の対象となってしまう事例も多くあります。</p> <p>このような無責任な飼い主が増える理由として、ペットショップではだれでも気軽に犬を購入できる状況があることが挙げられます。簡単に購入できる一方で簡単に手放す人も増え、その人々のせいで不幸な犬が増え続けているのです。</p> <p>そこで当団体では殺処分の期限のついた犬たちを保護し、里親につながるため、保護した犬を心身ともにケアをし、家庭犬になれるように訓練をします。その後、譲渡会によって当会の犬を直接見ていただき、新しい飼い主になる方々を探しています。</p> <p>また、先ほど記述したような無責任な飼い主が減るように啓蒙活動を行っています。令和2年度の引き取り数は27,635頭でありましたが、17年前の平成16年度の引き取り数は181,167頭と令和2年度の6倍以上にも及んでいました。この数値が減ったのは避妊・去勢手術を受けさせる、安易に犬を飼わないなどの啓蒙活動の賜物であるといえます。そのため当会では譲渡会と同時に啓蒙活動を実施し、引き取り数・殺処分数の更なる減少を目指しています。</p> <p>事業を行う場所の背景として、茅ヶ崎（湘南地区）では、ペット王国といわれるほど犬を飼う人が多いということが挙げられます。ペットを飼う人、又は飼おうと考える人が多い茅ヶ崎（湘南地区）の人々にこのような現状があると知ってもらうこと、そして伝え続けることには大きな意義があります。</p> <p>譲渡会に来ていただく方は「保護犬」という言葉のみ知っている方も多く、「繁殖犬」「ペットショップの現実」、「ペット産業の現状」、「他頭飼育崩壊」などについてまで知る人は多くありません。そのため、あらゆる方面から「犬」について知っていただく場にして頂きたいと考えています。</p>

<p>事業の目的や効果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・譲渡会によって保護している犬を直接見ていただき、家族を見つけることができます。 ・啓蒙活動によって命の尊さや動物を飼うことの難しさ、ペット産業の現状を知ってもらうことで安易に犬を迎える人や無責任な飼い主を減らし、増やさないようにすることができます。 ・犬を家族に迎え入れることで家族が一丸となり会話の増加やコミュニケーションの向上が図ることができます。
<p>事業の広報について</p>	<p>(使用予定の媒体にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>チラシ・ポスター <input checked="" type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ホームページ <input checked="" type="checkbox"/>Facebook <input checked="" type="checkbox"/>Twitter <input checked="" type="checkbox"/>その他のSNS (Instagram)</p> <p><input type="checkbox"/>市の広報紙 <input checked="" type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input type="checkbox"/>口頭にて伝達</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他 (地方紙 (T-style))での掲載、里親募集サイト (ぺっとのおうち、OMUSUBI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は主に SNS にてイベントの告知を行っています。譲渡会に参加する犬は都度 SNS に告知しています。 ・今後はより多くの方への情報提供ができるチラシやポスターによる広報を考えています。配架を考えているのは、募金箱設置協力店 (20 店舗×30 枚) や神奈川県内協力動物病院 (30 店舗×30 枚)、コミュニティーセンター (11 館×20 部)、茅ヶ崎市民活動サポートセンター (50 部) です。 ・チラシは市の広報掲示板にも掲載を依頼します。(146 箇所) ・ビラ配りを行います。
<p>今後の展望について</p>	<p>【当団体の展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護している犬 1 匹 1 匹にとっての最適な家族を探し、犬も飼い主も幸せになるお手伝いをします。 ・2022 年 11 月末では約 180 頭の犬を里親につなげましたが、令和 5 年度では 40 頭を目指します。 ・スタッフ増やすことで当団体及び事業の安定を図ります。 ・法人化にすることによって寄付金や支援金を増やし、継続的な事業にさせていきます。 ・団体の名前及び活動内容を周知させることによって保護犬を迎え入れる選択をする家族を増やします。 <p>【事業の展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットやチラシによって譲渡会に興味を持ってくれる方、そして来場していただく方を増やし、その方々に啓蒙活動を行うことによってペット産業の現状などを知る方を増やします。 ・譲渡会の安全性を高め、スタッフ・来場者共に心地よく譲渡会に参加できる環境をつくります。
<p>事業の実施体制について</p>	<p>【団体の運営体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総括 代表者 1 名 ・役員 2 名 ・会計 1 名 ・広報 4 名 <p>【協力者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーナー 2 名 ・トリマー 1 名 ・獣医師 2 名 <p>【事業の運営体制】 約 21 名 (変動有)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の設営・撤収 1 名 ・受付 2 名 ・物販販売 2 名 ・講師補助 1 名 ・犬の説明 3 名 ・啓蒙活動 2 名 ・警備・誘導 2 名 ・ゲージ内要員 5 名 (各ゲージ 1 人) ・ゲージ内交代要員 3 名

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1. 団体収入	¥64,936	団体資金からの充当
2. 事業収入	¥70,000	募金
3. 補助金収入	¥500,000	げんき基金より
合計	¥634,936	

支出

科 目	金 額	内 訳
賃金（会員外）	¥40,500	1500円×3人×9回 =40,500円
謝金	¥120,000	しつけ教室の講師への謝礼 20,000円×1人×6回 =120,000円
旅費	¥43,308	往復電車代（茅ヶ崎駅-戸塚駅） 330円（片道）×2×3人×9日 =17,820円 往復電車代（茅ヶ崎駅-平塚駅） 189円（片道）×2×4人×9日 =13,608円 往復電車代（茅ヶ崎駅-鎌倉駅） 330円（片道）×2×2人×9日 =11,880円
物品費	¥287,908	タープテント 14800円×3個 =44,400円 テーブル3個セット 27,200円 サークル 14890円×4個 =59,560円 ハーネス 2599円×20個 =51,980円 スリップライド 1699円×20個 =33,980円 収納ボックス 1,176円×10個 =11,760円 アルミスタンド 8,580円×3個 =25,740円

		ラミネートフィルム 1973円 おやつ 1597円×9個 =14,373円 1228円×9個 =11,052円 手指消毒用アルコール(400ml×4本) 2,144円 不織布マスク(126枚×2個) 3,746円
印刷製本費	¥36,970	プリントパック ★パンフレット1万部
	¥15,000	デザイン料
狂犬病	¥91,250	狂犬病接種ワクチン 3650円×25頭=91,250円
合計	¥634,936	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

- 備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。
- 備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

物品購入理由書

1	物品名	見積金額	使用頻度
	タープテント	¥14,800	譲渡会の度に使用（年6回）
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	雨や風、日を避けるために必要であり、季節や天候に関わらず譲渡会を実施することができる。以前まで知人や他団体から借りていたが、団体専用のものを購入し、自立した事業運営を図る。		団体保有のイベント車にて保管し、今後の譲渡会等イベントにも使用。
2	物品名	見積金額	使用頻度
	サークル	¥14,890	譲渡会の度に使用（年6回）
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	譲渡会の際、保護している犬を一時的に入れておくために使用する。当団体が保持していたものよりも高さがあり、頑丈なものを購入することでより安全性を高める。		団体保有のイベント車にて保管し、今後の譲渡会等イベントにも使用。
3	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
4	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い

【補足資料】

2022 年活動実績

活動実施日	イベント名	場所	内容	人数
2月20日	譲渡会	ペットフォレスト 茅ヶ崎店	譲渡会・物販	20人
3月7日	第9回わんにゃんマルシェ	第一カッター黄色公園	譲渡会・物販	19人
4月17日	譲渡会	ペットフォレスト 茅ヶ崎店	譲渡会・物販	13人
5月29日	卒業犬オフ会	カルペンソール湘南	撮影・物販	23人
6月12日	トヨタわんデーマルシェ	湘南国際村	譲渡会・物販	17人
7月9日	七夕チャンドルナイト	辻堂駅	物販・パネル展示・募金活動	9人
7月10日	譲渡会	ペットフォレスト 茅ヶ崎店	譲渡会・物販	16人
8月14日	譲渡会	ペットフォレスト 茅ヶ崎店	譲渡会・物販	13人
8月19日	ブランチ縁日	ブランチ3	物販・パネル展示	6人
9月11日	譲渡会	DOGWILL	譲渡会・物販	14人
9月20日	動物愛護週間イベント	湘南鎌倉クリスタルホテル	物販・パネル展示	6人
9月21日	動物愛護週間イベント	湘南鎌倉クリスタルホテル	物販・パネル展示	4人
9月22日	動物愛護週間イベント	湘南鎌倉クリスタルホテル	物販・パネル展示	3人
9月23日	動物愛護週間イベント	湘南鎌倉クリスタルホテル	譲渡会・物販	15人
9月24日	動物愛護週間イベント	湘南鎌倉クリスタルホテル	物販・パネル展示	2人
9月25日	動物愛護週間イベント	湘南鎌倉クリスタルホテル	物販・パネル展示	2人
9月25日	Chigasaki de 愛 fes!!	茅ヶ崎市役所前広場	譲渡会・物販	11人
9月26日	動物愛護週間イベント	湘南鎌倉クリスタルホテル	譲渡会・物販	2人
10月2日	THE WILD ONE FESTIVAL	新横浜公園 第一駐車場	譲渡会・物販	16人
10月16日	わんデーマRCHE	湘南国際村	譲渡会・物販	19人
11月16日	第10回わんにゃんマルシェ	茅ヶ崎市中央公園	譲渡会・物販	14人
11月26日	FUGA SUMMIT	湘南国際村 めぐりの森	譲渡会・物販	11人
12月16日	動物たちのための	辻堂駅	物販・パネル展示・募金活動	8人

2021 年活動実績

活動実施日	イベント名	場所	内容	人数
3月21日	インスタグラム・ライブ	レーベン	ライブ配信	6人
3月28日	譲渡会	柳島スガーツ公園	譲渡会・物販	23人
7月17日	チャリティ・ライブ	藤沢・カフエとらじや	トークショー (ゲスト出演)	2人
7月18日	インスタグラム・ライブ	レーベン	ライブ配信	6人
7月25日	譲渡会	第一カッター黄色公園	譲渡会・物販	15人
8月29日	インスタグラム・ライブ	レーベン	ライブ配信	5人
9月23日	譲渡会	DOGWILL	譲渡会・物販	20人
10月31日	インスタグラム・ライブ	レーベン	ライブ配信	8人
11月14日	譲渡会	ブランチ3 (茅ヶ崎・浜見平)	譲渡会・物販	20人

<譲渡会風景一例>

・わんにゃんマルシェ 譲渡会



ケージ内

啓蒙活動及び物販販売

・DOG WILL 譲渡会



ドッグラン

しつけ教室報告画像

ケージ内

・ペットフォレスト譲渡会



啓蒙活動



物販販売



ケージ内



移動車

・その他の写真



・柳島スポーツ公園譲渡会



子犬ケージ内

物販販売

他団体との合同写真

<p>市民活動推進補助事業企画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年1月8日</p> <p>（あて先）茅ヶ崎市長</p> <p style="text-align: center;">所在地 提出者 名称 ガーゼ帽子を縫う会 代表者氏名 吉田久美</p>	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(1) 保健・医療 又は福祉の増進を図る事業
事業の名称	① がんサバイバーのためのワークショップとコミュニティ作り
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和 5年 4月 1日から 令和 6年 3月 31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
- (2) 構成員の名簿
- (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	ガーゼ帽子を縫う会	
連絡先		
設立年月日	2010年5月9日	
構成員数	5 人（うち役員 4 人）	
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者	4 人
	その他	1 人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 https://www.gaze-boushi.com <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（facebook等・SNS茅ヶ崎サポートセンターの団体登録）	
設立の経緯	<p>自身の乳がん体験で漠然とした不安を抱えながら治療をした経緯から、思いの吐露をできる場所コミュニティの必要性や検診の大切さを感じた。</p> <p>今後湘南地域（藤沢・茅ヶ崎・平塚）にがんサバイバーがいつでも訪れ、心の荷物を下ろせる環境を作りたい。</p>	
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● がんサバイバーのコミュニティ作り （罹患後の孤独感をなくす・役割や生きがいを見出すきっかけづくり・治療生活に役立つ正しい情報交換） ● 乳がんの検診率向上 	
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 抗がん剤治療の副作用時にかぶるガーゼ帽子作りとコミュニティ作り （対象者：がんサバイバー） ● 小児がんの子供たちへのガーゼ帽子寄付 ● 乳がん触診モデルを用いた「しこり」体験とプレストアウェアネスの大切さを伝える。 	
年間決算額	300000 円	
補助金の状況	<p>団体名：ガーゼ帽子を縫う会</p> <p>補助金の交付を受けた年度：2019年度 2022年度</p> <p>補助金の名称：茅ヶ崎市市民活動推進補助金 公益財団法人正力厚生会</p> <p>がん患者団体助成</p>	

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 午前の部：レンタルスペースを利用して治療中の生活に必要なガーゼ帽子作りをしながらがんサバイバー同志のコミュニティ作りや正しい情報の提供をし、がんになっても「ひとりじゃない」ことに気付くきっかけ作りをします。 またがんという共通体験をもつ仲間と出会うことで思いの吐露が出来たり、ガーゼ帽子作りに集中することで病気を忘れるひと時をもち、孤独になりがちながん治療とうまく向き合うきっかけ作りをします。 2. 午後の部：パステルアートでは、パステルの優しい色に癒されながら、日頃頑張っているご自身を認め、優しい時間の流れる中でコミュニティ作りをします。 3. 午前～午後を通して医療者ではないピアサポーターが、がんにかつわる不安な気持ちや悩みを予約制で個別にお伺いします。（医療的な相談ではありません）午前2名・午後2名 各1時間程度ご本人だけではなく、ご家族・ご友人もご一緒に対応することも可能です。 <p>新型コロナ感染対策として事前予約制とし、定期的な換気をします。参加者は入り口や適宜手指消毒をしていただき、参加中はマスク着用をお願いします。また、2週間前からの体調・体温チェックをしていただき、当日はお名前、連絡先の記載と共に提出をしていただきます。また、ご自身で移動が困難な方への車椅子送迎も可能にします。</p> <p>場所：コミュニティカフェ にじカフェ 日程：年2回程度 1, 2共に各5名 対象：女性のがんサバイバー</p>
<p>事業の背景 について</p>	<p>ある日突然がんになり、今後の生活のイメージがつかめず、漠然とした不安の中、孤独を感じる人が少なくないと感じています。治療以外のことで情報収集の必要性を感じても、ネット活用できる人はオンライン患者会などへ参加もできますがそうでない人にとってはどう情報収集したらいいのか、どうやって同じような体験をした人に出会えるのか分からず家に閉じこもりがちになっています。そのようなサバイバーがワークショップに参加することでがん体験者同士のコミュニティ作りと生活の工夫や「ひとりじゃない」ことを感じる事ができるための事業を企画しました。</p>
<p>事業の目的や効果 について</p>	<p>2人に1人ががんになる時代になんがなっても孤独にならず、不安な気持ちを吐露できる場所ができ、そして必要な正しい情報を入手できることができたなら、がん難民にならず不安を軽減することができます。そして自分らしく過ごせる時間を通し、がんと共に生きていけるような環境作りができます。また、同じような体験をした仲間と出会うことで「ひとりじゃない」と感じることで心強く感じ、その人らしい生き方が出来るきっかけ作りができます。</p> <p>がんサバイバーが前を向く事で、がんサバイバーだけでなくサバイバーを支える家族や友人も安心することができます。</p> <p>ワークショップに参加をすることで、自分の居場所を見つけ、毎月開催しているオンラインやリアルに開催している子ども用ガーゼ帽子作</p>

	りに参加するきっかけ作りができます。
事業の広報 について	<p>(使用予定の媒体にチェック)</p> <p>✓チラシ・ポスター ✓パンフレットなどの刊行物</p> <p>✓ホームページ ✓Facebook</p> <p>✓市の広報紙 ✓市の広報掲示板 ✓口頭にて伝達</p> <p>✓その他 (病院や患者会など 20 カ所程度にレターバック等でチラシを送付)</p> <p>市の広報への依頼をします。チラシは医療機関の設置を依頼します。</p>
今後の展望 について	<p>この事業を通して、がんになっても孤独にならず、安心して暮らすことができる環境作りや気持ちを吐露する場所があることで、自身の人生を自分らしく生きる気持ちになり、サバイバー同志が地域で支え合える環境作りに寄与する活動にしたいです。</p> <p>定期的に費用負担の少ない施設を利用することも検討します。 また、希望者には子ども用ガーゼ帽の寄付事業への参加をご案内し、社会貢献できる喜びや生きがいへと繋げたいです。</p> <p>団体としては今後は会員を募り、会費制にして付加価値をつけることで団体のファンを増やすことを検討していきたいです。</p>
事業の実施体制 について	<p>総括 代表者 1 名</p> <p>受付・会計 1 名</p> <p>広報 (チラシ・パンフレット・はがき作成、配架・発送) 2 名</p> <p>車椅子送迎 1 名</p> <p>【協力者】</p> <p>ピアサポーター1 名</p> <p>補助スタッフ 1 名</p>

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
団体収入	30900	ガーゼ帽子を縫う会団体資金から充当
事業収入	10000	参加費@500×10名×2日間
補助金収入	160000	市民活動推進補助制度
合 計	¥200,900	

支出

科 目	金 額	内 訳
賃金(会員外)	¥60,000	介護者送迎@10000×1名×2日 ワークショップ補助スタッフ@10000×1名×2日 ピアサポーター@10000×2日間
物品費	73500	ガーゼ生地・縫い糸@2000×5名×2日分 アンケート用紙(コピー用紙)500円 プリント用インク1セット5000円 アルコール消毒類@1500×4カ所 6000円 不織布マスク2000円 ステル@5000×5名分 かし網・画用紙・練りけしゴムマスキングテープ・セロハンテープ・鉛筆・下敷き・クリアファイル・カッター・ものさし・コットン・ティッシュ等)1名分@3000×5名分
印刷製本費	20000	★団体PR三つ折りフライヤー・チラシ1000部10000円 フライヤー。チラシデザイン料10000円
通信運搬費	7400	レターパック@370×20部
使用料・賃借料	40000	にじカフェレンタルスペース使用料@20000×2日間
合 計	¥200,900	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

私は41歳の時に乳がんになりました。その時、精神的にとても辛かったことのひとつが抗がん剤治療による脱毛でした。治療で身体が辛いうえに脱毛のストレスまでも抱えていくことはとても辛く、心が折れそうになりました。

がんの治療における脱毛は患者さんにとって想像以上の不安やストレスを伴います。そのため気分が落ち込んだり、外出することや人に会うことをためらいがちになることもあります。

このガーゼ帽子はボランティアの方の「がんと向き合っている人の心と身体を少しでも和らげるお手伝いがしたい」という思いや、仲間たちの「ひとりじゃないよ」という思いを込めて、柔らかく優しい風合いのガーゼ素材でひとつひとつ手作りをしてがんサバイバーの心と身体にそっと寄り添います。

「がん」という病はひとりで頑張るよりも支えて支えられて前に進むことができる病だと感じています。

私も治療中はたくさんの人に支えてもらい、そして今があります。

ひとりじゃない。応援しています。

CNJ認定 乳がん体験者コーディネーター
吉田 久美



活動は皆さまからのご支援で成り立っています。
私たちの活動に応援をお願いします。

ゆうちょ銀行
098 ゼロキユウハチ
普通預金 0575227
ガーゼボウシヲヌウカイ

ガーゼ帽子を縫う会

～つながらる気持ち～

がんと向き合う方や
ご家族を応援しています



<https://www.gaze-boushi.com/>

コミュニティ作り

大人用子ども用も作成しています。

毎月第2水曜日11:00～

対面



横浜市仲町台

コミュニティカフェ
いのちの木で開催



オンライン

毎月第3水曜日9:30～



112

出張ワークショップ

お問い合わせください



支援

がんと向き合っている子どもたちとそのご家族を応援します。



病院や医療施設へ子ども用
ガーゼ帽子の寄附をしています。

ガーゼ帽子を縫う会ではがん経験者が自身のため、子どもたちのためにガーゼ帽子を作ること
で、自分の新たな役割を見出し、支え合いの場
となっています。患者だけではなく、子どもた
ちを応援したいというボランティアも共に活動
し、がんと向き合っている子どもたちとそのご
家族に、少しでも笑顔の時間が増えるように、
そして治療を願い、応援する気持ちとともに
届けられています。

全国に活動が広がっています

北海道支部

オンライン・現地で開催（不定期）
お問い合わせ：akiyon.apo@gmail.com

埼玉支部

毎月1回元気を育てる家ルミナリエ
で開催
https://le-mina-rie.com/

三重支部

毎月第2金曜日MONZEN
毎月第4火曜日コミュニティハ
ウス縁で開催
お問い合わせ：gazeboushi.mie@gmail.com

ガーゼ帽子を縫う会

代表：吉田 久美



NPO法人あいおぷらす 副理事長
https://aioplus.net/

NPO法人サザンコアラ 副理事長
https://www.sazankoara-shonan.com/

平塚共済病院

乳がん情報室・アピアランス相談室勤務

CNJ認定 乳がん体験者コーディネーター

メンタルケア カウンセラー

メンタルケア 心理士

介護職員初任者研修

パステルシャインアート

ベーシックインストラクター

お問い合わせ：gazeboushi2010@gmail.com

